

# 平成30年度 共通教育カリキュラムマップ

【科目一覧】

## 基礎教養科目群 人文科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSH0001	神話・伝説の世界から	全て	民衆の中から発生した文学の背景を見つめ、本質に触れながら作品を鑑賞し、多くの文学作品の根底に流れるものを読み取る力をつけることを目的とする。	神話の普遍性について考え、人類の文化を知る。
18GBSH0002	万葉集恋歌の世界	全て	万葉集は1200年以上前に編纂され、作者は天皇から農民に至るまでの様々の階層の人たちであり、生老病死・悲喜こもごもの4500首を歌が所収されている。その中で現代の我々の心に最も訴えるのは、やはり恋歌であろう。恋歌を通じて万葉集に親しむとともに、人間の本質を考える力を養う。	日本文学の源流となった和歌、特に恋歌の理解を通じて、文明の目覚ましい発達にもかかわらず、1000年以上の時を経て変わらない喜怒哀楽があることを学び、自己の心情を豊かにする。和歌文学の原点である万葉集を学び、生涯学習力の基礎を獲得する。
18GBSH0003	平安朝文学の世界	全て	平安朝の文学を通して、当時の人々の生活・風俗や考え方に触れ、我が国の文学や文化についての理解を深めることを目標とする。	古典文学作品を読解する基本的な能力を身につける。平安時代の人々の生活や考え、文化について理解する。平安時代のさまざまな作品に触れることを通じて、文学史の知識を身につける。
18GBSH0004	日本文学にみる香り	全て	「香り」が話題になってから久しい。古代から日本人は「香り」に強い関心を持っていた。文学作品を通して、日本人がいかに「香り」に関心を持ち、独自の「香」文化を形成していったかを理解する。	古典の知識を習得し、社会での活動その他において活用することができること。教科書を熟読することにより、香りだけではない、さまざまな古典の知識、現代の生活への影響などを学び、古典を学習することの意義を理解すること。香りについてさまざまな知識を習得し、それを生活に生かすこと。
18GBSH0005	芭蕉をめぐる人々	全て	「芭蕉」は交流のあった人々にどのような影響を与えかつ受けたのかを知ることが目的である。「芭蕉」は独自の俳諧を開拓するにあたって、多くの人の影響を受け、また多くの人に影響を与えている。この講座では、「芭蕉」はどのような人と関わり、どのような影響を受けたのか。また「芭蕉」らしさはいかにして形成されたのかを知ることが目的である。	「芭蕉」と交流のあった人々に対する彼の書簡や著作を読み解くことにより、「芭蕉」の人間性や考え方を理解し、その感性に触れることを目標とする。
18GBSH0006	雨月物語に込められた情念	全て	『雨月物語』は一般に怪異小説と受け取られていることが多い。しかし、その中には作者「上田秋成」の執着、執念などの思いが込められている。そういった情念を怪異譚の中から読み取ることを目的とする。	『雨月物語』に込められた情念や「秋成」の主張する教訓的な内容を理解することが目標である。
18GBSH0007	芭蕉と旅	全て	「芭蕉」の旅の記録や作品である紀行に触れることによって、その俳文を通じて彼の人生そのものともいべき旅への想いと、その人生観・俳諧観にふれることを目的とする。	「芭蕉」にとっての旅というものを通じて、彼独自の人生観や俳諧観を理解することが目標である。
18GBSH0008	「心中天網島」の女房「おさん」	全て	心中物に登場する当事者以外の人物（脇役）でありながら、『心中天網島』において主役にも比すべき重要な役割を演じる「紙屋治兵衛」の女房「おさん」の場合について考察する。	「おさん」を初めとする登場人物それぞれの心の動きや、その妥当性・合理性を確認することが目標である。
18GBSH0009	日本近代文学の魅力Ⅰ	全て	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。	作品内容の個別性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。
18GBSH0010	日本近代文学の魅力Ⅱ	全て	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。	作品内容の個別性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。
18GBSH0011	グリム童話の中の女性たち	全て	西洋のメルヒェンを学びながら、その中に現れる女性の生と性、男性の生と性を観察することによって、西洋文化を別の視点から見る目が養える。それによって日本女性である自分の生と性を、より正確に偏見なく把握できるようになれば、というのが担当者の願いである。	伝承文学であるグリム童話を通して西洋中世の人々の生活をジェンダーの視点から考察できるようになる。「女らしさ」「男らしさ」が時代や社会によって変わるジェンダーであることが認識できるようになる。
18GBSH0012	シェイクスピア入門	全て	「文学」と聞いたとたん顔をそむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いする人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。	「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSH0013	源流としてのシェイクスピア	全て	「文学」と聞いたとたんに顔をそむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いな人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。	「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけではなく、自分で読み取る能力を身につける。
18GBSH0014	日本史の中の女性たち	全て	日本の歴史上、各時代において女性が果たしてきた役割と機能について考察することで、現代社会における生き方について考える素材とする。	日本の歴史上、女性が果たしてきた役割と機能について理解し、女性として現代を生きるための指標を獲得する。
18GBSH0015	日本の画像文化論	全て	描かれた資料から、日本社会の歴史や生活、文化について、立体的に理解することを目標とする。	過去に描かれた画像メディアから、その目的や意図を読み取ることで、当該時代の歴史、生活、文化等について理解する。画像メディアを例として、資料、メディアから情報を収集するための考え方、技術を身につける。
18GBSH0016	日常生活からの哲学入門	全て	この科目では、西洋と日本の哲学者の議論を紹介しながら、「見る」「触れる」「感じる」といった日常にありふれた経験を分析する。これらの経験について考えた哲学者たちの議論の仕方を学ぶことによって、哲学的な分析の手法を身につけることを目標とする。	西洋哲学の基本的な言葉遣いを学ぶことで、西洋文化の基礎にある考え方を理解する。言葉を用いて問題を発見し、整理し、論理的に考える力を身につける。一つの経験に対して複数の考え方があることを理解し、それぞれの考え方の狙いを踏まえて主体的に判断する力を身につける。
18GBSH0017	現代フランスの音楽事情	全て	フランスの音楽事情を通してフランスの側面を学ぶと同時に、音楽と社会について考察できる力を培う。また、フランスの例から日本の音楽事情にも考えを巡らせる思考力を身につける。	フランスにおける音楽活動や文化政策の一端を知ることで、異文化理解につなげる。
18GBSH0018	ミュージカル歌唱法	全て	歌は自分を表現することである。心と体をリラックスさせ、感性を磨いて何事も積極的に取りくめることを目標とする。	15回の授業で、学生達が発声方法を学び楽曲をしっかり演奏できることを目標とする。
18GBSH0019	合唱表現Ⅰ	全て	社会生活に必要な、人の話を聞き、理解し、自分を表現する能力、そして協調する能力を養うことを目的とする。合唱に於いて、他声部を聴き、皆と調和することに喜びを得、高い音楽性を目指し歌唱する。	譜読みの能力を習得し、初見で歌うことができるようになること。また、他声部を聴きながら自分のパートを歌えるようになること。歌いながら曲を把握し、皆で音楽を創り上げることができること。毎回行う発声練習で、声を鍛え自分を表現できるテクニックを習得すること。
18GBSH0020	合唱表現Ⅱ	全て	社会生活に必要な、人の話を聞き、理解し、自分を表現する能力、そして協調する能力を養うことを目的とする。合唱に於いて、他声部を聴き、皆と調和することに喜びを得、高い音楽性を目指し歌唱する。	譜読みの能力を習得し、初見で歌うことができるようになること。また、他声部を聴きながら自分のパートを歌えるようになること。歌いながら曲を把握し、皆で音楽を創り上げることができること。毎回行う発声練習で、声を鍛え自分を表現できるテクニックを習得すること。
18GBSH0021	音楽の科学	全て	音楽は今も昔も私たちの生活の一部であり、暮らしに彩りを添えてくれる。近年の研究において、音楽を聴く、歌う、演奏するといった活動を行っている時には、脳の様々な領域が働いていることがわかってきた。本講義では、音楽の科学的な側面に焦点を当て、音楽を享受する人間の本質の一端を明らかにすることを目標とする。	人間にとってなぜ音楽が身近で大切な存在なのかを授業全体を通して学び、音楽に対する広い視野と洞察力を養う。また、「音楽と脳科学」に関する様々なトピックスから、一般の人の脳活動と音楽家の脳活動の違いを理解する。
18GBSH0022	先端芸術表現	全て	膨大な情報そしてモノが溢れる現代社会において、芸術表現の手段となり得るメディアは多岐にわたる。先端芸術の「今」を理解し自ら表現することを通して、芸術表現の可能性に挑む。	まずは昭和末期から平成の今現在に至る国内外のアート・シーンの概況を捉える。そしてそこに現れた数多の技法や思考法のいくつかを理解し、自らの作品へと反映させる。コンセプチュアルな表現も多いことから、構想から制作そして作品化のプロセスを「ことば」として明確にする。
18GBSH0023	生活の中の美的感動表現	全て	ひとりひとり顔が違うように同じものを描いても、それぞれ異なったニュアンスがある、それが個性である。この授業を受けることで個性の再発見、再認識するきっかけを目的とする。	模写することにより大切なところを学習し、ガラス絵制作によりもの作りの達成感を得ることを到達目標とする。
18GBSH0024	自己発見アート	全て	アート表現を使ったセラピー的学習。ものを創造し、表現していく過程から、普段の生活では自覚しにくい潜在的な自己を発見する。自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。	自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSH0025	未 来 造 形	全て	未来について考え、そのイメージを作品として表現することで、現代を生きる自分自身が未来を構築していくための一員であることを自覚する。既成概念に捕われぬ発想力や想像力の育成と、基本的な表現技術の習得。	物をつくる過程を通し、創造する喜びを知る。また、他の人の作品を通し未来の多様性を感じる。
18GBSH0026	感 性 の 書	全て	日本独自の仮名文字の変遷をたどりながら、創作の楽しさを実感させる。	書の美の表現の多様性を理解する。
18GBSH0027	書 の 世 界	全て	書の創作の楽しさを実感させる。	書体美に対する意識を深める。
18GBSH0028	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	全て	この科目は、和の文化 日本舞踊に触れながら、一人でできる着付け・人に着せる着付けを学ぶ。そして楽しみながら自然にマナーを学び、美しい身のこなしや人とのつき合い方を身につけることを主な目的としている。	“舞い”・“踊り”・“仕種”から構成される日本舞踊の作品に触れ、伝統芸術を理解し、国際化時代にふさわしい品格を忘れない魅力的な女性を目標とする。
18GBSH0029	ミュージカルの実践	全て	ミュージカルを幅広く知ってもらうため、本講義ではその入門編として概論・実践の双方を学習する。	概論・実践の双方を学習した上で、セメスター修了時にミュージカル作品の中から数シーンを研究上演することを目標としている。
18GBSH0030	歌 舞 伎 鑑 賞 入 門	全て	日本の伝統芸能の一つである歌舞伎について学び、その魅力に触れるとともに、そうした芸能を育んできた我が国の文化についても理解を深めることを目的とする。	歌舞伎についての基本的な知識を身につける。歌舞伎の面白さを理解する。江戸時代の文化についても理解を深める。
18GBSH0031	日 本 の 文 化 I	全て	This course will aim important concepts of Japanese culture. Students will be asked to apply these concepts to current Japanese life and think critically about Japanese belief systems, ways of interacting and creative expressions. We will discuss what it means to be an international student in Japan or being Japanese in the context of daily life in Kansai.	As a result of taking this course, the student will be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• increase awareness of Japanese society and how it functions as well as the culture behind its systems.</li> <li>• make connections from given reading materials to cultural concepts or peoples' real-life experiences.</li> <li>• express and share your thoughts and opinions with your peers.</li> <li>• prepare and deliver organized presentations in small groups and to whole class.</li> </ul>
18GBSH0032	日 本 の 文 化 II	全て	This course will aim important concepts of Japanese culture. Students will be asked to apply these concepts to current Japanese life and think critically about Japanese belief systems, ways of interacting and creative expressions. We will discuss what it means to be an international student in Japan or being Japanese in the context of daily life in Kansai.	As a result of taking this course, the student will be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• increase awareness of Japanese society and how it functions as well as the culture behind its systems.</li> <li>• make connections from given reading materials to cultural concepts or peoples' real-life experiences.</li> <li>• express and share your thoughts and opinions with your peers.</li> <li>• prepare and deliver organized presentations in small groups and to whole class.</li> </ul>
18GBSH0033	遊 び の 人 類 学	全て	本科の目的は「遊びとは何か」、遊びを文化の問題として考える。遊びを文化として理解することの重要性は、遊び現象のなかに社会と文化が投影されていることを読み解いていくことにある。近年、遊びを「する」ことと同じくらいに遊びを「考える」ことが魅力的なものとなってきている。遊びに凝縮・刻印されている文化と社会を文化人類学のアプローチによって、異文化理解と自文化理解の展望のもとに考察を進めていく。	到達目標は二つある。 一つは、遊びのもつ多様性を授業によって理解した上で、学生自らが考察することによって、遊びと当該社会との関連性について説明することができるようになること。 そして、遊びの本質を理解することによって、人が人らしく生き、豊かさが実感できる社会を実現するために遊びを活用する方策を創造できる力を養うことである。
18GBSH0034	日 本 語 表 現 入 門	全て	現代を生きる教養人として必要な、基本的な言語表現能力を習得することを目的とする。	論理的に思考し、相手を意識した言語表現力を養う。
18GBSH0035	心 理 学 入 門	全て	本科目は心理学を初めて学ぶ人を対象として、心理学の基本的な考え方や方法論を理解することを目的としている。また、ここでは科学としての心理学を理解し、自己理解や身近な生活への活用について考える。	①心理学についての基本事項を理解し、説明できる。 ②心理学の知識を用いて、自己分析ができる。 ③心理学的視点から、日常生活や社会生活についての考えを深めることができる。
18GBSH0036	人 間 関 係 の 心 理 学	全て	私たちは日々、誰かと関わって生活している。人間関係は大きなストレスにもなる反面、心に安らぎも与えてくれるものである。この科目では、人間関係について心理学的に理解することを目的としている。	①人間関係に関する心理学の基本事項を理解し、説明できる。 ②グループワークなどを通じて変化する自分自身について分析できる。 ③心理学的視点から、日常生活や社会生活についての考えを深めることができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSH0037	心理学実践演習	全て	「心理学は古いこと?」「心理学を学んだら人の心が読める?」など、心理学という言葉に漠然としたイメージを持つ人も多いと思われる。この科目では、心理学の研究を実際に体験しながら、科学としての心理学を理解することを目的としている。	①心理学研究法の基本を説明できる ②意欲・関心をもって、他者と協力しながらデータ収集に取り組むことができる ③図表などを用いて、得られたデータを適切にまとめることができる ④得られた結果を分かりやすく他者に説明できる
18GBSH0038	SNSから日本語を見る	全て	近年、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、私たちの生活の中で大きなウエイトを占めるようになってきた。それは、SNSにかかわる行動だけではなく、人間のコミュニケーションにおいてもっとも重要で基本的な役割をもつといえる言葉にも影響を及ぼしている。本科目では、身近な存在であるSNSの言葉そのものに焦点を当て、表現や表記などの用いられ方に一定の法則があることなど、SNSの言葉の面白さと特徴を知ることが目的とする。	SNSで用いられている言葉にはどのような特徴があるか、またその特徴を知るための方法を認識している。

#### 基礎教養科目群 社会科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSS0001	アウシュビッツ 戦争と女性	全て	「戦争を知りたい」。こう考える学生は確実に増えている。29年度後期は定員200に対して770人の受講希望者があった。今年3月には18人の学生がポーランドのアウシュビッツを訪れ、その目でホロコーストの現場を確かめた。なぜ行動力を伴う学びができるのか。学生が、これまで学んできた「戦争」は年表や地名・人名を記憶する「現代史」の一部であった。その時代を生きた人々の息遣いを感じる教育に巡り合ってこなかった。たしかに戦争体験者は減っていく一方である。戦争遺跡も消えている。しかし、若者の関心は薄れるばかりだろうか。人間の歴史として位置付けられ、興味を待つはずである。ここに力点が置かれる。第二次大戦の最大の惨禍とされるアウシュビッツとヒロシマ、そしてわが国で唯一戦場となった沖縄。兵士ではない女性たちにも容赦なく悲劇は襲った。新聞記者としてその場に立ち、膨大な証言と遺品に向き合ってきた。伝えるべき事実は今も存在する。学生たちには、きっと初めて知ることが多いだろう。登場するのはすべて、みなさんと年齢の変わらない女性ばかりだ。身近に感じることができる、と考え「戦争と女性」をキーワードにした。戦争遺跡の保存、証言者からの継承など、新しい試みを織り交ぜて展開される。現代の戦争にも触れてほしい。	「戦争はいけない」。それは小学生の感想である。大学生ならそこから一步踏み出さなくてはならない。目を背けていては何も生まれない。向き合うことからなにかが始まる。酷い事実や映像も出てくるが、これまでも受講した多くの学生が凝視してきた。アウシュビッツを訪問した学生も今回ツアーを加えると27人にのぼる。広島・長崎、沖縄に行き、授業で学んだ戦争を現地で追体験した学生も多い。このように生まれた関心を「行動」にまで高めることは大事なことである。戦争を考える場は数多くある。「火垂るの墓」もここ西宮が舞台だ。母となって、教壇に立って子供たちに問われてもたじろがないぐらいの知識は身につけてみよう。この授業を通じて、祖父母の戦争体験を聞くようになった学生たちもいる。自宅に持ち帰った授業資料をもとに家族と語り合うという受講者もいる。戦争を遠い世界の出来事と思わないようになること。それを目標にしよう。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という言葉がある。その意味を確かめる機会にもなる。
18GBSS0002	世界の大学事情	全て	先進国においては、この30年間に高等教育機関（大学）への進学率が急上昇し、進学者が増加している。高等教育の大衆化である。なぜこうした高等教育の大衆化が急速に進んだのか、各国では大衆化に伴いどのような事態が進行しているのか、大衆化が高等教育にいかなる変化をもたらしたのかなどを理解し、現代社会における高等教育の意義、国際社会の中でのあり方を考える契機とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どのようにして大学が誕生し、どのように発達していったのか、その歴史と社会的役割を知る。</li> <li>• 現代における大学制度やその目的、社会的機能について理解する。</li> <li>• 日本の大学と世界の大学を比較し、日本の大学の特徴や課題を理解する。</li> <li>• 大衆化していく世界の大学が共通に抱える問題や課題について理解し、その解決方策について考える視点を持つ。</li> </ul>
18GBSS0003	情報化と教育	全て	情報化が社会や教育に及ぼす影響や、情報の特性について理解を深めるとともに、情報社会に必要な知識や心構えを学ぶ。また、グループ討議や自主研究を行う中で多様な考えに接し、思考を深め、表現する力や協働的な課題解決の姿勢を養う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育の歴史や教育の新しい流れについて理解を深める。</li> <li>(2) AIをはじめとしたイノベーションに伴う諸問題について理解を深める。</li> <li>(3) 未来の担い手である子ども達への影響や子どもへの関わり方など、情報化に伴う諸課題について、自らの考えを明確にできる。</li> </ol>
18GBSS0004	差別と暴力のない世界をめざして	全て	急激な変化を見せている現代社会において、未来世代の子どもたちと共に新しい人権・平和文化を育むことは、教養教育に課せられた大事な仕事である。そのために、人権・平和に関する諸問題について研究を行い、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間形成のあり方を探求する。	人権、平和に関する諸問題が生じる要因について、科学的に認識するとともに、その解決に向けて行為、行動できる市民的資質、力量の修得を目指す。また学習過程において、自ら問題意識を深め、課題を発見し、自主研究できる能力を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSS0005	人 権 教 育 論	全て	1948年国連において世界人権宣言が採択されました。その後も今日に至るまで、人権保障のための様々な努力がなされている。人権問題は、かつては個人に対する国家の人権侵害が深刻な問題であったが、グローバル化が急速に進む中で、これまでの人権論では想定できない新しい人権問題も起こっている。この講義では、現代の多様化した人権問題を解説し、人権感覚を十分に身につけ、すべての人々の人権が尊重され、平和で豊かな社会を築く市民としての資質を学ぶ。	グローバル化の進展により、社会の事象がさらに複雑化し、世界的な規模で様々な新しい人権問題が発生している。その表面的な事象に惑わされることなく事実の本質を見抜き、人権を尊重する考え方や行動のあり方を身につける。
18GBSS0006	カウンセリングの実際	全て	さまざまな分野から必要性が求められているカウンセリング、その実際を理解し、基礎力をつける。	<p>カウンセリングの基礎が身につく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.対人支援において人を理解することの説明ができる</li> <li>2.心のバランスを崩した状態の説明ができる</li> <li>3.性格や心の葛藤についての説明ができる</li> <li>4.支援するときの聴き手の基本的な態度を習得する</li> </ol>
18GBSS0007	カウンセリングスキル	全て	現在、関心を集めている心理カウンセリング。人を支援すること（ヒューマンサポート）を目的としたカウンセリングの具体的な技術を身につける。	<p>カウンセリング技術（スキル）についての理解と実践</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.人とかかわるときの言葉かけや質問の仕方が身につく</li> <li>2.非言語コミュニケーションについて説明ができる</li> <li>3.人を支援するときのさまざまな価値観について説明ができる</li> <li>4.人や家族を支援するときの基礎的な面接技術が身につく</li> </ol>
18GBSS0008	実践カウンセリング	全て	カウンセリングの基本的な考え方、方法を学び、生活や仕事に役立つ実践力をつける。	<p>カウンセリングを実践する基礎力が向上する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.人を支援するときの原則が説明できる</li> <li>2.対人支援において人の話を聴くときの基礎力が身につく</li> <li>3.人や家族を理解することの説明ができる</li> <li>4.グループで協力して支援する意味を説明できる</li> </ol>
18GBSS0009	生きがい探しのボランティア論	全て	「生きがい探しのボランティア論」という科目は、全国で唯一開講されている科目です。生きがいとは、本来自分自身で見つけるものです。他人に強制されるものではありません。人生の入り口にいる若い皆さんが、悩んでいることも事実です。ボランティアという行為を通じて、少しでも自分自身の良さに気づき、他者への温かい眼差しが持て、また自分自身で考え行動できる優しさの中に強さを持った人になれることを望んでいます。	1995年1月17日早朝に起きた阪神・淡路大震災。その救援活動に、全国から多くのボランティアが馳せ参じました。これをもって、ボランティア元年と称しました。これ以降、ボランティアという言葉が、一般的になりました。しかし、改めてボランティアの意義や歴史を学ぶことで自分の生きる座標軸を見つけることを目標とします。また、実際に大学や地域の各種のボランティア活動を紹介しますので、自主的に参加できるような意識をもつようにします。
18GBSS0010	生涯福祉論	全て	日常生活における社会福祉の身近なテーマを学習しながら、快い生活を送るための自分の生き方を「ゆりかごから墓場まで」の生涯を考えていくことと制度の内容を学習することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学んだことを必要に応じて実生活の中で活用できる。</li> <li>2. 学んだ社会福祉の基本的な制度が自分の身近な生活の中に関わっていることに気づける。</li> <li>3. 社会福祉において「快い生活」とは何かを自分なりの考えとして見いだせる。</li> <li>4. 双方向授業とグループワークによって、考える力を養うことができる。</li> <li>5. 自分の考えを言葉にして他者と共有することから、新たな学びや発見がある。</li> <li>6. 学んだ社会福祉制度とその内容を理解でき、生活で応用できる。</li> </ol>
18GBSS0011	社会福祉とボランティア	全て	社会福祉制度を学びながら、その領域においてどのようなボランティアが必要か考える機会を目的とする。また、ボランティア活動をより身近に感じ、複雑で困難な社会の中でボランティアが個人の「生きる力」の一つとなることを考えることも目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習する社会福祉の基本的な制度の知識を得ることができる。</li> <li>(2) ボランティアが生きる力につながるか、どうかの自分なりの考えを得ることができる。</li> <li>(3) 生活困窮（貧困）、障がい、高齢者（介護や施設）、医療現場、地域社会の領域で、ボランティアについて考え、実生活でボランティア活動にさらに興味と関心を持てるようになる。</li> <li>(4) 高齢者施設について学び、そのいずれかの施設で利用者が主体となるボランティア活動を考え、機会があれば実践できる。</li> <li>(5) 高齢者施設でどのようにして長期間定着して就労できるのかについての考えを得ることができる。</li> </ol>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSS0012	聴覚障害者の理解と手話	全て	聴覚障害者の理解につながる基本的な事柄を学ぶことにより、広く障がいのある人々を理解すると共に、グローバルな視野に立って、共生社会の意味を考える。また、聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つである手話について、簡単な日常会話ができる程度の基礎的な内容を養うことを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障害者の理解につながる基本的なところを学ぶ。</li> <li>聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つである手話を使って、簡単な日常会話ができるようになる。</li> </ul>
18GBSS0013	福祉レクリエーションの実際	全て	福祉レクリエーションとは、高齢者や障がい者に多く見られる生活支援を必要としている人々に対して、身体的・精神的な健康の回復を意図して行われるレクリエーションの一分野である。とすれば、特別扱いされ敬遠されがちな分野から、コミュニケーションやレクリエーションの意義や方法について、個人の身近な環境を切り口に考えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な福祉の環境について考察する</li> <li>レクリエーションの意味を体感する</li> <li>身近な福祉の環境を想定しながらレクリエーションを計画する</li> <li>身近な福祉の環境にレクリエーションを実施する</li> </ul>
18GBSS0014	子育てと家族関係	全て	家族の中には、夫婦、親子、兄弟姉妹などといったさまざまな関係が存在している。将来、親として子どもに接する自分像、あるいは家族像を構築するために、青年期から成人期における女性の発達をこれらの家族関係とのかかわりでもとらえることにより、現在の家族の一員としての自分を再確認することを目的としている。	家族の意味と機能を見直し、家族の中の人間関係について理解を深める。
18GBSS0015	現代家族論	全て	家族とそれを構成する個人や社会との関係を、様々な視点から論じる。講座を通して、現代家族の理解を深め、自分が生まれ育った現在の家族に感謝する気持ちを持ち、また将来の人生設計における家族構築の可能性を真剣に考える機会を得る。	人間が一生のうちに経験する家族の数には限りがある。多様な家族のあり方が存在することや現代家族における問題点を知ることにより、生涯にわたるライフデザインの参考にする。
18GBSS0016	「ふつう」を考える社会学	全て	私たちは、「ふつう」という言葉をよく使う。その「ふつう」とは、どこまでが「ふつう」で、どこからが「ふつうでない」のか？境界線がどのようにしてつくられるのかを考え、生活世界について多様な見方ができる力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を単体で見るのではなく、相対的に理解する力</li> <li>情報を鵜呑みにするのではなく、社会的状況の文脈において理解する力</li> <li>物事を今という状況だけでなく、歴史的な文脈において理解する力</li> <li>科学的知を生きていく力に活かす力</li> </ul>
18GBSS0017	子育てと母性の気づき	全て	現代は、女性の社会進出によるライフスタイルの変化や、日常生活における乳児との接触機会の減少などの影響により、「産む」「育てる」ことが、個々の選択により委ねられる時代になったといえる。これをふまえた上で、出産というライフイベントに対する興味を喚起することを目的としている。	母親に対するイメージを再構築し、母性に対する理解を深める。
18GBSS0018	現代社会と憲法	全て	日本国憲法の理念、体系について学ぶとともに、日本国憲法が具体的にいかなる形で日常生活に影響を与えているかを知ることによって、法的な思考プロセスの基礎を養うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法への関心および基礎的な理解を深める。</li> <li>法的な思考プロセスへの親和性を高める。</li> <li>日常生活における様々な事象について、法的な視点から考察するための基礎を身につける。</li> </ul>
18GBSS0019	日本国憲法	全て	日本国憲法は施行から70年が経過し、私たちの社会に着実に根付く一方、多くの新しい課題にも直面している。これらを視野に入れながら、日本国憲法の理念・体系・機能等について学ぶ。	<p>授業等を通じて、受講者が次に掲げる能力を養成できることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①日本国憲法の成立事情や基本原理・構造・規定内容等を統一的に説明できる。</li> <li>②日々の生活の中で起こる諸問題を日本国憲法に基づいて実際に説明できる。</li> </ol>
18GBSS0020	日本国憲法	全て	日本国憲法が我々の生活、生き方にどのようにかかわっているのかを、理論的に学ぶ。	<p>憲法への関心を高める。</p> <p>憲法の基礎を理解できる能力を身につける。</p> <p>学校教育と憲法とのかかわりについて、自ら考える能力を身につける。</p>
18GBSS0021	女性と子どものヘルスケア	全て	この科目の女性のヘルスケアに関しては、思春期から老年期までの女性に特有な健康課題、および健康を増進し、疾病を予防するためのセルフケアについて学ぶ。さらに子どもの成長に伴う身体的特徴、病気や事故の予防のための手立てや対策、罹りやすい病気や症状に対するケア方法について学ぶことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性に特有な健康課題を述べることができる。</li> <li>2. 女性の健康増進と疾病予防のためにできるセルフケアを説明できる。</li> <li>3. 女性の健康に関する社会問題には何があるか、例を挙げるができる。</li> <li>4. 子どもがどのように成長し、どんな身体的特徴を持っているかを説明できる。</li> <li>5. 子どもが罹りやすい病気や起りやすい症状に対する知識とケアの方法をあげることができる。</li> <li>6. 病気や事故に対する予防方法について説明できる。</li> </ol>
18GBSS0022	外国から見た日本社会のしくみ	全て	This class will examine and interpret modern Japanese society and culture as seen in the popular drama “The Emperor’s Chef.”	This class will prepare students to better understand and discuss Japanese society and culture with persons living within Japan and foreigners living outside of Japan.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSS0023	都市形成のあゆみと都市生活	全て	私たちをとりまく都市が、どのようにして生まれ成長してきたのかを読み解くことで、普段何気なく暮らしている都市や都市での生活について再認識することを目的とする。	都市や都市での生活の再認識をおこなうことにより、現代都市の課題と将来展望を認識し、社会の一員として、まちづくりやエアーマネジメントの必要性を理解し修得することを目標とする。
18GBSS0024	CSビジネスコミュニケーション	全て	「コミュニケーション」「ホスピタリティ」「CS - 顧客満足」の3つの理論を学ぶことで、社会が求めるコミュニケーション力の技量アップを図り、実社会で即戦力となりうる人材の育成を図る。 演習・実技を通し、各回の内容を知識として「知る」だけでなく、「できる」ようになることを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人に求められる言葉使いと話し方を習得する。</li> <li>・信頼される社会人になるための表現方法とコミュニケーション能力を身につける。</li> <li>・ホスピタリティの重要性を理解し、より良い人間関係の構築につなげる。</li> <li>・社会における企業の役割を理解し、働くことの意味を知る。</li> </ul>
18GBSS0025	消費者生活論	全て	この科目は、学生が充実した消費生活を営むために、自立した消費者市民として、確かな目で商品・サービスを選択し、安全、安心な豊かな生活を手にすることができるようになることを主な目的としている。	<p>学生が授業を通じて、消費者市民として個々の特性を尊重し、社会、経済、環境など幅広い視点から消費生活について論理的に思考し、問題解決力を養うことを目標とする。</p> <p>&lt;関心・意欲・態度&gt; 消費者問題に関心をもち、日常生活の中でトラブルに巻き込まれないためにはどうすればよいか意欲的に学習する。</p> <p>&lt;知識・理解&gt; 安全・安心な生活を送るための知識を習得する。</p> <p>&lt;思考&gt; 情報感度を高め、正確な情報を入手し、思考力や判断力を高める。</p>
18GBSS0026	日本経済のしくみ	全て	This class will help students understand the evolution of the Japanese economy and its place in the world through the popular drama "Shitamachi Rocket."	This class will prepare students to better understand and explain the Japanese economy to persons within Japan and to foreigners living outside of Japan.
18GBSS0027	英語で学ぶやさしい経済学	全て	私たちの日常生活は経済と密接に関連しており、またグローバル化に伴い世界の経済の動向を知ることは、ビジネスパーソンとしてとても重要なことである。平易な英語で経済学の基礎事項を楽しく学び、将来のキャリアに活かせる経済の知識とビジネス英語のスキルを身につけることを目指す。	英語での経済ニュースの意味内容をたやすく理解する。 経済、および社会に対してクリティカルな思考で物事を分析するスキルを身につける。
18GBSS0028	英語で学ぶお金の知識	全て	大学生活や将来のライフイベント、(就職、結婚、育児、老後)などに備えて、必要なお金の知識を日本語と英語で学び、自分の生き方にあったお金の活用方法を身につけ、合理的なライフプランを設計できる、ファイナンシャル・リテラシーの習得を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ファイナンスに関する、英語の語彙・表現を学ぶ。</li> <li>*お金の知識を反映したライフプランを設計する。</li> <li>*海外でのパーソナル・ファイナンス事情を学ぶ。</li> <li>*グループアクティビティを通じて、英語で自分の意見や考えを発表できる力を身につける。</li> </ul>
18GBSS0029	情報と社会	全て	現代社会では様々な場面で情報技術が利用され、人々の生活や社会に大きな影響を及ぼしている。 こうした情報社会では、パソコン、携帯電話、インターネットなどの普及と、様々な情報のデジタル化が進みつつある。本科目では、その動向を知り、情報化の必然性を理解する。 また、個人として情報社会を生きてゆく上での基礎知識を習得し、日々の生活に活かせるようになることが目的となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会で情報がどのような意味合いを持つのかについて自らの言葉で説明できる。</li> <li>・現代社会で情報がどのように活用されているかを具体的に説明できる。</li> <li>・現代社会が情報社会と呼ばれる理由を説明できる。</li> <li>・情報社会での社会生活や人間関係がどのように変化してきたかを説明できる。</li> <li>・情報社会特有の様々なリスクを理解し、対処方法を実践できる。</li> </ul>
18GBSS0030	我々のくらしと日本の産業	全て	我々の生活は、様々な産業が提供するモノやサービスによって成り立っている。本講義では、産業とは何かを経済との関係でとらえた上で、日本の産業の移り変わりについて学ぶ。また、産業に対して政策が果たした役割について考え、日本の産業が抱える問題や課題を浮き彫りにする。さらに日本の第二次産業および第三次産業のなかから特徴的な業界をとりあげ、その歴史、特徴、課題等を学ぶとともに、今後の産業の姿を展望する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の産業構造の変遷を学び、日本の産業の実態と課題を習得できる。</li> <li>・主要産業の歴史や特徴・課題を理解できる。</li> <li>・就職活動や社会人として行う業界研究に、学んだことを役立てることができる</li> </ul>

基礎教養科目群 自然科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSN0001	エコロジーと私たちの暮らし	全て	21世紀最大の課題は地球温暖化問題を筆頭とする地球環境問題の解決である。地球環境問題の実態を知り、その解決法を探る。	地球環境問題の実態と解決方法をプレゼンできるレベルを目指す。
18GBSN0002	天文学入門	全て	本科目では、星空案内人資格認定制度に準拠した内容の講義をおこなうことで、星や宇宙に関する基礎的な知識の習得を目指すことを目的とする。	太陽系から恒星、星雲・星団、宇宙に至るまでの、現代天文学が明らかにしてきた宇宙像に関する基礎的な知識を身につけることを通じて、私たちが存在している宇宙について理解する。 講義を通じて得た知識を天体観望会をはじめとする科学ボランティア活動を通じて、幅広い年齢の方にわかりやすく伝えるための表現力、プレゼンテーション力を身につける。
18GBSN0003	数的能力の発達過程	全て	数学は人間の生活を豊かなものにし、遠い未来を見据えた大きな課題から身近な課題まで多くの問題の解決に寄与してきた。しかしながら算数・数学でつまづいて苦手になった人は多い。数や数学の発生過程から現代社会における数学的考察の大切さを考えることで、算数・数学の面白さ、有用性を実感することを学び、その過程を通して、主体性に課題を解決するための数学的アプローチを身に付け、論理的に物事を考察する能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の発達についての歴史を理解する。</li> <li>・日常生活の中における数的能力の重要性を理解する。</li> <li>・数学的思考による問題解決を図ろうとする態度を持つ。</li> <li>・数的能力を向上させる段階を理解する。</li> </ul>
18GBSN0004	数や図形の科学	全て	日常生活の中や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さを知るとともに、過去の偉大な数学者たちによって築き上げられてきた基本的な概念や原理・法則への理解を深める中で、探究的な態度や論理的思考力を修得する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日常生活や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さに気づく。</li> <li>(2) 様々な場面で数学が活用されていることを知り、自然科学に対する興味関心を高める。</li> <li>(3) 双方向の授業やグループワークを通じて、考える力や表現力を養う。</li> </ol>
18GBSN0005	生態学的視覚論	全て	ヒトや動物が、生活している環境に適応したすぐれた視覚認知能力を持っていることを学ぶ。我々は、ヒトとして進化する中で、自然環境や自分たちの作った人工の環境に適した能力を獲得してきた。「ものを見て理解する」視覚認知能力も、我々の生活する環境のあり方と無縁でないことを、身近で具体的な例を見ながら考える。	日常何気なく接している私たちを取り囲む環境のあり方が、私たちの持つ優れた視覚認知能力を育んできていることに気付いてもらい、人間や動物が周囲の環境と密接な関わりの中で生きていることを、実感してもらうことを目標とする。
18GBSN0006	視覚認知	全て	だまし絵やオプティカルアート等、不思議で興味深いパターンを題材にして、視覚と我々を取り巻く環境との相互作用の中で発達したヒトの“ものを見て解釈する能力”について考える。具体的にパターンを見ながら、ヒトの視覚認知の持つ特徴とそのメカニズムについての理解を深めることを目標とする。	ものを見て理解するという、当たり前の我々の視覚認知が、案外「危うい」側面を持っていることに気付いてもらうと共に、その「危うさ」の裏返しとして、すばらしい世界を伝えることができることを実感してもらう。
18GBSN0007	生命科学入門	全て	「生物」「いきもの」に関わるテーマについて、自分の身の回りの事柄を科学的に考察し、知っている事実からその現象を連想し理解することで、「生物学」「生命科学」に対する探求心を養うことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生命科学を体系的に把握するために、大きな視点と小さな視点の両方から「生命」について理解できる。最新の細胞・分子生物学では非常に小さな事象を扱うため、できるだけ大きな視点から始めて、自分自身のこととして捉えられるように学習する。</li> <li>2) 身の回りに起こっている生命に関わる様々な事象を、科学的に理解できる。</li> </ol>
18GBSN0008	身近な動植物の起源と歴史	全て	私たちの衣食住のいずれでも、動植物に由来するものが多い。それらの多くは、人類が自らの生活に役立つように、品種改良したものだ。これまでの人類の英知の結晶であると言っても過言ではない。一方で、それらの動植物の利用法は生活様式の異なる国ごとに大きく異なる。その起源をたどりその歴史を学ぶことは、知識量が増えるだけでなく、将来の日常生活をより豊かに楽しいものにするだろう。	衣食住の生活にかかわる動植物を通して、まず人類の歴史を実感する。現代人の常識は100年前の人々の常識ではない。さらに、世界の交流の歴史や世界における日本の独自性を認識する。日本人の常識は世界の常識ではない。国際人としての教養と感性を身につけるのが授業の目標である。
18GBSN0009	生態系サービスと生物多様性	全て	私たちが住んでいる地球には実に多様で魅力的な生物が存在すること、私たちの生活はこれらの生物に支えられて成り立っていることの理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物多様性と生態系サービスに関する基礎的な知識を養う。</li> <li>2. 日常生活を支える身近な生物に目を向けられるようになる。</li> <li>3. 生物多様性を守ることの大切さを理解する。</li> </ol>
18GBSN0010	環境問題の歴史	全て	21世紀の最大の課題は環境問題の解決である。21世紀に生きる皆さんに必要なものは、環境破壊や環境問題に関する知識と環境影響に対する秀でた感受性である。本講義では、古代ギリシャから現在までの環境問題の歴史を学びその教訓をいかに生かしていけばよいかを考える。	過去の環境問題がいかに生じてきたか、またどのように解決されてきたかをプレゼンできるレベルを目指す。



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSN0011	科学技術の歩み	全て	明治期の主要産業は絹製品、綿製品であり、さらに大正・昭和期にはレーヨン・スフという再生繊維に進歩し、太平洋戦争後には合成繊維が登場する。本講義では繊維を切口に明治期以降の科学技術の進歩の歴史と経済の歴史を俯瞰する。	日本の繊維産業の興亡を通して、日本の科学技術の進歩の歴史をプレゼンできる力を涵養する。
18GBSN0012	生命科学の基礎	全て	21世紀は生命科学の時代といわれている。本講義は皆さんが興味を持っている血液型と性格の関係・恋愛と血液型の関係、さらに借り卵子や代理母などの生命倫理、またDNAの本質を社会学的な視点を保ちつつ理解することを目指す。	DNAの働き、借り卵子、代理母などの実態をプレゼンできるレベルを目指す。
18GBSN0013	生活の中の物理学	全て	身の回りに見られる題材から、日常生活の素養となる物理学を習得する。論理的／数理工学的な考え方で自然を眺めたり、応用する力を養う。物理に限らず、科学的なりテラシー能力を得られるよう広い話題から講義を進める。	ものごとのしくみ・背景にある自然法則の理解を通じて、普段の生活をより一層味わい深いものにする。また、数量的な見積りや論理的思考を日常的に行う習慣を身につけ、擬似科学に騙されないような感覚を取得する。
18GBSN0014	最先端物理学が描く宇宙	全て	物理学の歴史的な進展も交え、我々が現在までに得ている「宇宙」の観測的描像と理論的描像を紹介する。論争によって発展をつづけた科学的世界観や、宇宙物理学の諸問題を理解する。現代物理学の2つの柱である相対性理論・量子論を紹介し、宇宙が膨張していること・ブラックホールが存在していることはどうやってわかったのか、素粒子の確率解釈が必要となった理由は何かなど、物理学の根源的な問題を（数式ではなく）論理的な展開を軸に解説する。自然界を解明していくサイエンスに触れ、教養を得るだけではなく、広くて柔軟な思考を身につけて欲しい。	宇宙物理学をキーワードに、物理に対する考え方や取り組みを理解する。現代物理学が描き出す、非日常的な不思議で壮大な結論を理解する。教科書にないような最先端の事柄を調べ、科学的・論理的な説明ができる能力を養う。
18GBSN0015	微生物がつくる発酵食品の不思議	全て	私たちの生活の中で当たり前になっている食品が、どのようにして作られているのかについては、あまり知られていない。そこで、“食品がどのように作られているのか？”、“発酵食品とは何か？”、“微生物がどのように食品に関与しているのか？”など不思議な謎を解く講義を通して、食品をより理解することを科目目的とする。	様々な微生物の性質や発酵食品などの加工食品がどのように作られているのかを微生物学的に、科学的に、食品学的に、食品加工学的に理解し、食品へのイメージを高め、これからの食生活をより豊かにすることを到達目標とする。
18GBSN0016	食生活からの化学入門	全て	高等学校で化学基礎の授業のみか、あるいは十分に理解をしていないか、または苦手意識が先行してしまった学生を対象に文系理系を問わず化学の基礎的な内容理解を目的とする。また、化学を履修してきた学生にとっては、さらに化学と食との関連事項への理解を深めることを主な目的としている。	日常、目にする多くの現象や新聞、雑誌等に掲載されている化学的な事柄に興味をもって、接する中で、関連する化学知識を理解することができることを到達目標とする。例えば、私達が食べ、口にしているお菓子、飲み物などに表示されている栄養成分表には元素記号で省略されているものが多く見受けられる。また、シャンプー、健康食品などの成分も化学的な内容表記がある。これらを少しでも理解し、疑問が生じたときに自ら調べ、身近に化学的にとらえることができる知識の理解を目標とする。
18GBSN0017	色彩情報	全て	私たちの日常は色にあふれている。衣・食・住、どれをとっても彩色が施されており、生物にも色がある。では、みなさんが見ている色と隣の人が見ている色は果たして同じ色なのだろうか？ 本科目では、色の基礎知識として、色の見えるしくみ、色を正確に伝達する手法、その他、生活の中にもみる色情報のしくみを理解することを目的とする。	1. 色はなぜ見えるのか説明することができる。 2. 色を正確に伝達する手法を説明することができる。 3. 生活を営む上で色彩を有効に用いることができる。 4. 色彩検定資格取得に向けた目標を持つことができるようになる。
18GBSN0018	科学から考える衣服と生活	全て	衣服といえば一般的にはファッションが想起され、デザインや流行といった文化的側面に目が行きがちであるが、物としての基本的価値、例えば身体を寒暑等から守ることで人類が地球全体に活動範囲を広げられたことなどを忘れてはいけない。衣服の科学的知識やその根底の考え方は衣生活において極めて重要で、大学等でも古くから系統的に研究され、教えられてきた。本講義では、衣服に関する科学的領域について、人体生理から素材、環境問題まで広くその科学的知識や考え方を教授するとともに、より良い衣生活について受講生と共に模索したい。科学と生活のかかわりに気付くことで、科学を普段の生活に役立てられるようになるだろう。	まずは、受講生がより健康的で快適な衣生活を実践できるようになってほしい。また、家庭生活やアパレル系職業、幼・保から高校までの教職等、各自の活躍する場において周囲に正しい知識や情報を適切に伝えられ、グローバルな視点で社会全体がより良い衣生活に向かうことを期待したい。
18GBSN0019	健康を支える仕組み	全て	ヒトの生命の誕生から成長、加齢を通して「健康のための生命科学」を展望します。「いのち」はいつ始まり、いつ終わるのだろうか。また人間の尊厳とは何なのだろうか。現在、生命科学は驚くべき進歩をとげたが、あらためてこのような難問に直面している。先端医療の急速な発達に伴って、われわれは従来のやり方では十分に扱えない倫理的問題に直面している。本講義では、生物の持つ共通の原理・仕組み（生物の構造・機能・遺伝子、情報処理）を理解し、生物の有する機能を人類の健康や福祉に役立てることができるということを理解する。	健康に関する情報を発信するが、講義を聴いただけでは健康にはならない。ヒトの生命システムをよく理解し、学んだことを実践し、健康に努めることが目標である。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSN0020	遺伝子の不思議	全て	ほとんどの人はDNAや遺伝子という言葉聞いただけで「何となく難しそう」というアレルギー反応を起こす。一方で新聞紙面の科学欄に載っている記事を見て、まるで全ての病気が解明され治療法が開発されたかのような美しい誤解をする。この講義によってアレルギー反応を断ち切り、生物の世界がいかに面白く感動的なものであるかを知ってもらいたい。	遺伝子の実体を理解する。私達の体は遺伝子という設計図をもとに形作られ、遺伝子の異常によって病気や老化といった現象が表れることを理解する。
18GBSN0021	視覚情報処理入門	全て	視覚センサの発達により、得られた視覚情報を認識・解析する様々な人工知能(AI)アプリケーションが開発され、私たちにも身近な存在となっている。本科目では様々な視覚センサ、特にデジタルカメラの仕組みを解説し、正しい知識に基づいた撮影のコツの取得を目的とする。さらに利用シーンに応じた基礎的な画像処理方法について学び、活用することを目指す。	視覚センサの仕組みを理解し、撮影シーンにあわせた視覚センサの選択と撮影セッティングが実践できる。また画像処理の基礎を理解し、目的に応じた「見せたい画像」を作成できる。

#### 基礎教養科目群 国際理解科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSI0001	大阪の地域文化と東アジア	全て	上方とよばれ、関西とよばれる京大阪を中心とした地域の文化は、300年ほどしかない東京とは明らかな文化的な位相が今も根強く生きている。「はんなり」という言葉は「華やかなり」が語源であるともいう。文化の伝統と新気風の両様を尊ぶ関西文化の諸相を様々な人々の生き様から探っていききたい。	興味ある時代と人物をとりあげ、現代との関連にポイントをすえて、今の我々の歩みをも考えていきたい。
18GBSI0002	韓流ブーム	全て	韓国と日本というアジアの隣国相互理解について考えたい。義理や儀礼を守り、人情に篤い国民性の韓国と日本は、驚くほどに似たところと、意外なほどに異なるところがある。現代韓国の文化、社会、また民俗や風俗と広く歴史や古典まで含めて、学び、感じ取れる講義を構築したい。	本講義を通じて、韓国文化を正しく理解してより深い理解をきわめていくことは表面的「韓流ブーム」を越えて、自らをとらえなおして日本のより深い理解にもつながるものであろう。
18GBSI0003	西洋服飾史	全て	エジプト、オリエント、ギリシア、ローマ、ビザンティン、ロマネスク、ゴシック、ルネサンス、バロック、ロココ、ロマン主義、近代といった、西洋世界における文化の風潮と衣服の歴史を学ぶ。	キリスト教を中心としたヨーロッパ文化に親しみ、事件史ではない歴史を知る。広く文化史に関する文献を読み、自分の意見をレポートにまとめる。
18GBSI0004	韓国文化の理解	全て	最近、「韓流」ということばが日本社会において大衆文化のキーワードになっている。本講座では韓国の文化と社会について基礎的な知識をはじめ、多様な韓国文化に対する理解を含めることを目標とする。	隣の国韓国を身近く感じ、その文化を理解する。
18GBSI0005	多文化・異文化の世界	全て	異文化理解を「文化」に焦点を合わせて考察し、現代社会において、異文化を理解するとはどういうことか、また可能なかを具体的に捉え直せるようになる。そして、現在自分たちがどのような社会状況で生活しているのか、客観的にみる視点を養う。	多文化・異文化に関する知識の理解が深まる。 具体的な問題解決能力が高まる。 獲得した知識・態度によって、批判的に考察を深め、自らのコンテキストで問題に対応することができるようになる。
18GBSI0006	日本の中の多文化社会と子ども	全て	この科目は、1. 外国人学校の学校文化を知ることによって日本の学校の特徴を理解し、2. 日本で生活する「外国につながる子ども」たちの現状や課題についての知識を養うことを目指す。	この授業を通して、次の3点について理解したり、言語化したりすることができる。 ・現在の日本社会を生きる「外国につながる子ども」の教育についての現状や課題について理解を深めることができる。 ・これまで日本のなかで外国人学校が存在してきた理由や歴史的意義について知り、その学校文化について社会学の視点から分析ができるようになる。 ・外国人や「外国につながる子ども」の教育について社会的側面から分析し、日本の公立学校で学ぶ「外国につながる子ども」の今後についての自ら考えることができるようになる。
18GBSI0007	World English I	全て	This course will allow students to explore the history and use of the English language in a global context.	Students will gain a broader understanding of the different varieties of the English language spoken throughout the world and be able to communicate better with speakers of various different English dialects.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBSI0008	World English II	全て	This course will allow students to further explore the history and use of the English language in a global context.	Students will gain a broader understanding of how the different varieties of English have spread throughout the world. Students will be able to analyze the ways in which English is used throughout the world, speculate about the global future of English, and take part in the international dialogue concerning the use of the English language.
18GBSI0009	中国 文化 論	全て	中国文化は古代から隣国日本に少なからず影響を与えてきましたし、今後も日本にとって最も密接な関係を有する国であります。この講義の目的はこの豊かな奥深い文化の基礎知識を概説することにあります。	受講を通じて学生が中国文化のみならず、日本文化との関連についても興味を持ち、今後の生活と仕事に役に立つようになってもらいたい。
18GBSI0010	漢字が つなぐ 東アジア	全て	この科目は、漢字・漢字語を中心に東アジアの言語、特に日本語・中国語・韓国語を対象に、それらの間の異同と交渉の跡を知ることにより、東アジアという視野の中で日本語を眺め、理解する視点を養うことを、主な目的としている。	東アジアの漢字・漢字語に関する基本的な知識を獲得し、日本語を東アジアという視野の中で客観的に眺めることができる。中国語、韓国語等を学習する意欲を得る。
18GBSI0011	世界の中の日本人	全て	この科目は、普段あまり意識することのない文化が自己形成や心のしくみにどのような影響を与えているのか、また文化の中で生きる人間の生き方が、どのように文化や社会を維持・変革しているのかを分析・考察することを主な目的とする。	ひとの感じ方や考え方、行動は個人によって差があるのは当然であるが、文化によっても異なっている。文化とひとの心や行動との相互作用に関する理論や研究についての知識を得ることにより、文化と人間について分析・考察するとともに、文化の中で生きている自分自身を見つめ直す。
18GBSI0012	国際協力入門	全て	今日、グローバル化が益々進むなか、さまざまな問題も国境を越え多国に影響をおよぼし、それらの解決には国際協力が欠かせない。しかし、一口に国際協力と言っても、さまざまな方法で行われている。また、国際協力が行われている分野も、経済、社会、平和構築等と多岐にわたる。本講義においては、国際協力が何故必要なのか、また国際協力はどのように行われているかについての基本的な知識を提供することを目的としている。	①国際協力の方法について概略を理解している。 ②さまざまな国際問題に対して、どのような国際協力が必要なのか、どのような協力が行われているかについて自分の言葉で述べるができる。 ③日本がどのように国際協力に関与しているかの一端を理解している。 ④より深く国際協力について学ぼうとする場合、その学習計画を立てるうえで必要な知識を習得している。 ⑤将来、国際協力の分野で活躍したいと考える学生は、希望具体化のさらなる検討に欠かせない国際協力の基本的枠組みを理解している。

#### 基礎教養科目群 現代トピック科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBST0001	本を編む執筆I	全て	「本を編む」とは、本を作ることである。本をつくるプロセスは非常に創造的な活動であるとともに、その活動を支える多様なスキルが求められる。この授業では、テーマに関する取材での主体的に活動する力、インタビューや交渉等における丁寧なコミュニケーション力、グループ活動に不可欠な協働力、原稿執筆の際には表現力、さまざまな事柄に対応する力など、自らの能力を多面的に伸ばす機会が多数用意されている。 本学院は2年後の2019年に創立80周年を迎えるが、現在、学院として『武庫川学院80年史』の作成が進んでいる。「本を編む」では、学院作成の『80年史』とは別に、学生や卒業生からみた『80年史』を学生自ら作成する。学生目線の『80年史』は、作成に関わる諸君にとっては学生時代の思い出になるとともに貴重な成果となることは間違いない。同時に、後輩への語りかけ、貴重な贈り物として語り継がれるだろう。 本科目では、本（学生目線の80年史）を作成するために、さまざまな取材（インタビュー、写真撮影など）を実践し、実際に原稿にまとめていくことを目的とする。	本を編む上で不可欠の作業（資料収集、取材）の実際について、取材と原稿執筆を通して、80年史全体における意味、重要性、留意点を知り、苦労や楽しさなどを含めて、自らが本を編むことに関わる自覚を持つようになること。 本を編む上で不可欠の情報収集作業（取材、インタビュー）、および原稿執筆に必要な基礎的知識・技術を理解、修得し、実践すること。 取材・インタビュー、原稿執筆などを通じて、主体的な活動力、コミュニケーション力、表現力、環境適応力といった、社会で必要なスキルを体得すること。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GBST0002	本を編む執筆Ⅱ	全て	<p>「本を編む」とは、本を作ることである。本をつくるプロセスは非常に創造的な活動であるとともに、その活動を支える多様なスキルが求められる。この授業では、テーマに関する取材での主体的に活動する力、インタビューや交渉等における丁寧なコミュニケーション力、グループ活動に不可欠な協働力、原稿執筆の際には表現力、さまざまな事柄に対応する力など、自らの能力を多面的に伸ばす機会が多数用意されている。</p> <p>本学院は2年後の2019年に創立80周年を迎えるが、現在、学院として『武庫川学院80年史』の作成が進んでいる。「本を編む」では、学院作成の『80年史』とは別に、学生や卒業生からみた『80年史』を学生自ら作成する。学生目線の『80年史』は、作成に関わる諸君にとっては学生時代の思い出になるとともに貴重な成果となることは間違いない。同時に、後輩への語りかけ、貴重な贈り物として語り継がれるだろう。</p> <p>本科目では、本（学生目線の80年史）を作成するために、さまざまな取材（インタビュー、写真撮影など）を実践し、実際に原稿にまとめていくことを目的とする。</p>	<p>本を編む上で不可欠の作業（資料収集、取材）の実際について、取材と原稿執筆を通して、80年史全体における意味、重要性、留意点を知り、苦勞や楽しさなどを含めて、自らが本を編むことに関わる自覚を持つようになること。</p> <p>本を編む上で不可欠の情報収集作業（取材、インタビュー）、および原稿執筆に必要な基礎的知識・技術を理解、修得し、実践すること。</p> <p>取材・インタビュー、原稿執筆などを通じて、主体的な活動力、コミュニケーション力、表現力、環境適応力といった、社会に必要なスキルを体得すること。</p>
18GBST0003	Japanese Culture Influence I	全て	This course will help students understand the impact that Japanese art and popular culture have had on other countries.	Upon completion of this course, students will have a better understanding of the ways in which Japanese cultural exports have influenced the global community, and be better equipped to engage in meaningful discussions about their own culture's place in the world.
18GBST0004	Japanese Culture Influence II	全て	This course will help students expand their understanding of the impact that Japanese art and popular culture have had on other countries.	Upon completion of this course, students will have a better understanding of the ways in which Japanese cultural exports have influenced the global community, and be better equipped to engage in meaningful discussions about their own culture's place in the world.
18GBST0005	モラルジレンマから考える私	全て	日常生活には様々なモラルジレンマがあり、これらは正解がはっきりしないことも多い。社会の中で生活するためには、自分の意見を明確にするとともに、他者との議論を通じて、自分の意見を見つめ直すことも必要となる。本授業ではこのジレンマ過程を実際に経験しながら、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を養い、自分自身について見つめ直すことを目的としている。	<p>①自分と異なる意見や考え方に対して、理解しようと努力できる</p> <p>②自分の意見を論理的に他者に伝えることができる</p> <p>③他者のディベートを聞いた後、それぞれの主張を要約できる</p> <p>④他者の意見と自分の意見の違いなどをふまえて、自己分析ができる</p>
18GBST0006	女性のためのマーケティング	全て	<p>「マーケティング」とは顧客および市場の創造である。消費財（化粧品・食品・衣服等）の購入決定権の8割は女性が握るといわれ、女性がマーケティングの知識を習得し、消費財の企画、広告宣伝、営業などマーケティングの現場で活躍することが期待されている。</p> <p>本科目では、身近な事例にもとづいてマーケティングの基本を習得し、マーケティングへの理解と興味を深めてもらうことを目的としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングの基礎理論を理解できる。</li> <li>・習得した知識を通じて身近なマーケティング事例を考察できる。</li> </ul>
18GBST0007	大学生活入門	1年のみ	<p>一般に大学生は、活動・行動範囲も飛躍的に広がり、以前より自由な行動を認められるが、一方では自分を律することを求められ、大人としての責任・責務も発生する。この授業では、学生生活を有意義に、また安全かつ快適に過ごし、その後生涯にわたって、社会人として健全な社会生活を送るために、必ず知っておきたい基本的な知識を修得する。</p> <p>&lt;1年生対象&gt;</p>	<p>大学生として、またその先の社会人への備えとして自分の健康は自らが守るという認識と自覚をもち、健全な社会生活を送るための健康、食生活習慣、危機管理等に焦点をあて、基本的な考え方と知識を習得する。</p>
18GBST0008	命を守る生体の機構と科学	全て	<p>一人の女性としてまた人間として生きていく上において、備えておくことが望ましい教養を各分野の最先端で研究されている先生方にお話いただけますので、現代社会において生命を維持し、さらにより快適な人生を送るために必要な知識やそれを支えるための基礎研究がどのように行われているかについて知り、教養として身につけ、自らの人生に応用することを目的とする。</p>	<p>命を守るために人類が本来備わっている生体防御機構とそれをどのように利用しているのか、現代の治療や移植医療の現場において生命科学的知識や手法をどのように駆使しているかを認識し、生命の神秘と命の大切さを認識することを目標とする。</p>

## ジェンダー科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GGEN0001	魔女裁判で学ぶジェンダー	全て	人々が伝承してきた魔女イメージと現実に処刑された魔女被告人を比較しながら、ジェンダーの視点から魔女裁判や魔女問題について考えていく。その際、文学、歴史学、社会学、宗教学、民俗学など多くの学問分野から魔女や魔女裁判について学際的考察を試みる。	魔女について多方面から学際的に考察することによって、文化的社会的に造られた性差、ジェンダーについて理解することを目標とする。
18GGEN0002	女性のための発達心理学	全て	目的の一つは、女性ならではの発達の特徴と課題を中心にしながら、人の生涯にわたる発達を理解していくことである。目的の二つ目は、それらの理解をもとに、自分らしい発達を遂げていくことについて考え、自分なりの人生を作り出していくことである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。</li> <li>性差について、論理的に思考し、不要な性差観を排除することができる。</li> <li>自分なりの生き方について考え、意思を表明することができる。</li> <li>成長し続ける女性としての自分を創り出すことへの意欲と態度を表現できる。</li> </ul>
18GGEN0003	女性と家族のゆくえ	全て	現在「女性」を取り巻く状況とそこから生じる問題を、「家族」との関連で考えていく。まず、当たり前前に存在しているかにみえる「家族」を、他文化との比較や歴史の中に置くことによって相対化し、とらえ直す作業をおこなう。そして、今後の「女性と家族」の新しい可能性を見出していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の問題を単体で見るとはならず、相対的に理解する力</li> <li>情報を鵜呑みにするのではなく、社会的状況の文脈において理解する力</li> <li>家族の問題を今という状況だけでなく、歴史的な文脈において理解する力</li> <li>科学的知を女性の生きていく力に活かす力</li> </ul>
18GGEN0004	女性と教育	全て	教育における自らの経験や現状をジェンダーの視点から分析・考察することによって、ジェンダーにとらわれないしつけや教育の可能性について考える力を養う。さらには、将来起こり得る様々な出来事（就職、進学、結婚、出産、育児等）について主体的に考え、行動できる力を養う。	日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。さらに、これまでの「とらわれ」から自由になる。
18GGEN0005	ジェンダーとアイデンティティ	全て	「女」を取り巻く環境は時代とともに刻々と変化している。同時に「女」の生き方およびそれに伴って発生する問題も変化している。そうした様々な変化を認識する中で、これまでとらわれてきた自らの女性観や性別役割分業観を問い、自分らしい生き方について主体的に考える力を養う。	日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。さらに、これまでの「とらわれ」から自由になる。
18GGEN0006	女性の身体とセクシュアリティ	全て	この科目は、ジェンダーの理論やセクシュアリティに関する事柄を理解し、自分の身体や性について考える機会をもつことを主な目的としている。	ジェンダーの理論や社会問題、セクシュアリティに関する知識を身につけることで、自分自身の心の中にある固定観念や偏見に気付く。また、女性に多い病気や障害についての正しい知識をもつことで、それらを予防・対処できる力を身につける。
18GGEN0007	メディアに見るジェンダー	全て	この科目は、メディアの中にある具体的な事例を通して、ジェンダーの理論や問題を分析することにより、自分自身の中のジェンダー意識を再考することを主な目的とする。	ジェンダーの問題は、漫画や小説やエッセイ、映像などのメディアに顕著に表れていることが多い。メディアの中にあるジェンダーを分析することにより、また、メディアから受けている多大な影響に気付くことにより、「当然」と思っている価値観やイメージについて分析・考察する。さらに、ディスカッションなどを通して、多様な意見や価値観に触れることで、自身の考えを深めることも目的の1つとする。
18GGEN0008	アジアのなかのジェンダー	全て	中国、インド、ベトナムなどアジア諸国の躍進がめざましい。同時に、これらの国々について理解することの重要性が増している。本授業では、これらの国々に関する基礎知識を得た後、教育、労働、結婚の現状および問題についてジェンダーの視点から考察する。	アジア諸国をはじめとする世界の国々の社会情勢に関心を持つようになる。特に様々な国々のジェンダーに関する諸事情に関心を持ち、それらの共通点や相違点を知る。さらに、それらの知識をもとに、日本のジェンダーに関する諸事情について考察したり、将来のジェンダー動向を予測できたりするようになる。

## キャリアデザイン科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GCRD0001	ヒューマンスキル入門	全て	ヒューマンスキル（対人能力）を高めていくには、まずは自分自身を知ることが大切である。さまざまな視点から自分を見つめ、自分との出会いを通していろいろな発見をし、さらに魅力的な自分を創造していくことを目指す。	他者との相互作用を通して自己理解を深めていく中で、コミュニケーション・スキルが確実に高められる。それによって、他者との関わりに自信をもてるようになる。また、決まりきった答えのない事柄に取り組んでいくので、考える力も向上する。以上が基軸となるが、そのほかにも感情をコントロールする力、目標設定力、マナー等を身につけていくことができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GCRD0002	パーソナルコミュニケーション	全て	学生のカルチャーから社会人のカルチャーへソフト・ランディングしていくために必要かつ重要な能力の1つが、コミュニケーション能力である。私たちの日々の活動は、さまざまな人との関わりの中で行われる。コミュニケーションのあり方が、人間関係を左右する。豊かな対人関係を築いていくためのコミュニケーションのポイントを身につけることを目指す。	対面でのコミュニケーション力の向上を目指していくが、人間関係やコミュニケーションの問題に正解や決まりきった答えはない。そのため、考える力も高めていくことができる。また、今後社会に出た時に求められていく自立・自律についても向上する。 さらに、アクティブ・ラーニングによって、主体的に行動する力、リーダーシップ、課題形成力の修得が期待できる。
18GCRD0003	女性のためのライフプランニング	全て	現在、女性をとりまく環境は大きく変化している。このような時代に、自らのキャリアについてどう戦略的に考え行動するか、女性としてどう生きるかを重要なポイントととらえ、有意義なライフプランを考える。	(1) 女性をとりまく背景、社会状況の知識の理解 (2) 自らのキャリアプランとライフプランの形成 (3) 理想のライフプラン実現のための課題を見つけ、その課題を解決する能力形成 (4) 自己表現ができるコミュニケーションスキルを身につける
18GCRD0004	キャリアプランニングの基礎	全て	・キャリア形成に必要な不可欠である①自己理解②社会理解③目標の設定④行動計画の作成など、一連の「キャリア・プランニング・プロセス」を身につけること。 ・「自分で考え、選択し、自分に責任を持つ」というキャリアの基本姿勢を身につけていくこと。	・自己理解・社会理解を深める。 ・キャリア・プランニング・プロセスを学んだ上で、自身の「キャリアプラン」が作成できる。 ・グループでの話し合いや発表などを通して、コミュニケーション力をつける。 ・自分で考え、自分で選択し、自分に責任を持つ姿勢を身につける。
18GCRD0005	自己アピールトレーニング	全て	就職試験の面接に必要な知識や技能を身につけ、自分自身を最大にプレゼンテーションすることを目標とする。	人前で自分の考えを自信を持って言えるようになる。清潔感のある身だしなみを身につける。社会人として必要なマナーを身につける。
18GCRD0006	実践コミュニケーション	全て	より良い人間関係を構築するためのコミュニケーションについて学び、実践することを通して、コミュニケーション力をつける。	・自分の気持ちや考えを適切に表現できる。 ・自分も相手も尊重する自己表現について考え、実践できる。 ・ありのままの自分を受け入れることができる（自己肯定感を持つことができる）。
18GCRD0007	キャリアデザインとライフプラン	全て	キャリアデザインはその言葉の意味からして仕事面が強調されがちである。人生においては確かに重要な要素に違いないが、あくまでもライフデザイン（人生設計）のなかの1つの側面としてとらえたほうが理解しやすい。それ故、向こう50年間の人生について学校・仕事・自己啓発・人間関係・資産・趣味・家族などさまざまな視点から具体的なイメージを膨らませ、そのなかでのキャリアデザインに向けてどのような努力をしていくべきかを明らかにすることを目的とする。	○「自分」を知ること ・自分の過去を振り返る・パーソナリティを知る・第一印象を知る ・自分の価値観を知る・いきが、やりがいについて考える ○知識・情報をもつこと ・キャリアデザインとライフプラン・キャリア理論・社会人とは ・企業化社会 ○社会人として必要とされる能力・スキル（技術）を理解し、解釈することができる。 ・自分の頭で考え、行動する・社会人基礎力・論理的思考力 ・リーダーシップとコミュニケーション・コンセプチュアルスキル ・タイムマネジメント・動機付け・自己革新
18GCRD0008	キャリアと学び	全て	いま、社会や企業が求める力は、主体性やコミュニケーション力やリーダーシップその他じつに多様であるが、そうした諸能力を育み、そのコアとなるのが思考力や継続的学習能力、すなわち「自ら学ぶ力」である。大学を出れば勉強は必要ないと思っている人は、充実した豊かな人生とキャリア発達を実現することはできない。これからの時代、生涯にわたるキャリア形成に求められるのは、将来の人生と仕事に思いを馳せるキャリア意識と成長意欲、そして目の前の課題に真摯に取り組む姿勢と主体的な学習力である。 本授業の目的は、受講生が仕事と学びに関する考察を深めながら、これからはどんな職業に就いても必須といえる、生涯を通じて学び続ける力を獲得することであり、さらに、自ら考え行動する主体性と社会的関心を身につけ、加えて学ぶ楽しさを感じ得ることである。 併せて「社会に貢献できる女性の育成」（武庫川学院教育目標）に資するために、受講生が「知性・情操・徳性」（立学の精神）の涵養を意識し、「主体性・論理性・実行力」（武庫川女子大学教育推進宣言）を具えた「自立した学生」に成長することを目指す。	この授業の到達目標は、受講生が次に述べるようなスキルとマインドを獲得すること。 ①自分で考える力 ②自分の言葉で話す ③行動力 ④授業以外でも自分で考える、話す、行動することができる ⑤質問と失敗を恐れない ⑥継続的学習力および学習習慣の必要性への認識とともにその獲得 ⑦授業外学習として、本と新聞を読むこと ⑧教養の必要性への理解と社会的関心 ⑨自分の居場所への納得と自己効力感 ⑩武庫女教育理念への共感

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GCRD0009	仕事力を考える	全て	<p>社会人として仕事をする能力として、基礎学力およびそれぞれの職業に必要な専門的知識とスキルは当然である。しかしそれ以外に、多様な人々と協働するために、発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力、自分で考える力、積極的な行動力、チャレンジ精神、仕事への熱意、リーダーシップ等々が挙げられるように、企業や社会が求める力はじつに多岐にわたる。</p> <p>それらの能力とその意味を考えるとともに、なぜ社会や企業等はそういう能力を必要とするのか、さらにそうした能力を育むには何をすればよいかについて考察する。それによって、企業や役所等が、筆記試験だけでなく、エントリーシート（ES）や面接を重視する理由もおおのずと明らかとなる。</p> <p>この授業では、受講生が、そうした社会人として仕事をする際に求められる能力の必要性への気づきを得、それとともに、それらの仕事力の獲得に向けて行動を起こすことを目指すようになる。</p>	<p>この授業で、受講生は次のようなスキルとマインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会から求められる仕事力の全体像と社会人基礎力への理解。</li> <li>②自分で考える力、自分の言葉で話す力、積極的な行動力。</li> <li>③公共圏における発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力。</li> <li>④当事者意識を含むリーダーシップの涵養。</li> <li>⑤自立した個人同士の協働を可能にする協調性。</li> <li>⑥挑戦・失敗・成長への意欲喚起。</li> <li>⑦キャリア意識と目の前の課題に真摯に努力する姿勢。</li> <li>⑧目標設定力と目的意識の重要性理解。</li> <li>⑨消費者マインドから生産者マインドへの意識転換。</li> <li>⑩充実したキャリア形成のために必須の自己肯定感と生涯学び続ける力。</li> </ol> <p>具体的な行動指標としては、一人行動、例えば、授業に一人で前方出席。グループディスカッション（GD）への積極的な参加。知らない人の前で自分の考えを話す。コミュニケーションへの入口としての笑顔と挨拶。ダメモト精神と失敗してもめげないチャレンジ精神。本と新聞を読むこと。</p>
18GCRD0010	企業の見方	全て	<p>社会における企業の役割や多様性ととともに、その存在意義や様々な活動について考え、併せて、将来の進路選択や職業選択の際の参考材料を蓄える。また、様々な企業事例を見ながら、優良な企業や組織とはどのような条件を備えているかについて考察し、そのことによって、企業や業界を一般的なイメージとして捉えるだけではなく、個々の企業を具体的に観察する眼を養う。</p> <p>他方、学生自身の問題として、消費者としての目線から、生産者もしくはサービス提供者としての目線を獲得することを目指す。あるいは、これまで消費者であり学生として生きてきた者から生産者であり働く社会人となる者へのマインド転換を理解する。このマインド転換がなければ、十分な企業理解が得られないことから、学生側の意識変容も重視する。</p>	<p>この授業の受講生は次のような知識、スキル、マインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①企業に関する様々な情報や知識。</li> <li>②BtoB企業および中小企業に対する理解。</li> <li>③個々の企業の具体的な見方。</li> <li>④自分から企業等を調べる態度。</li> <li>⑤就活と就業に対する前向きな姿勢。</li> <li>⑥主体的に就活を楽しむ逞しいマインド。</li> <li>⑦自分自身の将来における夢や目標の発見またはその重要性理解。</li> <li>⑧目の前の課題に真摯に取り組む姿勢。</li> <li>⑨自立と社会的関心。</li> <li>⑩自分で考える力、自分の言葉で話す力、行動力。</li> </ol>
18GCRD0011	卒業生が語る仕事と人生	全て	<p>学生にとって卒業後に始まる職業世界や社会人生活は未体験ゾーン。したがって不安と期待が錯綜するのは当然のこと。そんな学生たちにとって、社会人として活躍する卒業生に接することは大きな意味をもつ。夢と情熱と誇りをもって真摯に仕事に取り組む先輩の姿は、学生たちに尊敬や憧れの念を喚起し、自らの居場所に対する誇りを抱かせる。それだけにはとどまらない。</p> <p>先輩達からのメッセージに刺激や励ましを受けた学生たちは、自らの今の学生生活を見直し、学習意欲の向上や生活習慣の刷新、さらに自分に不足する能力開発へと、自分自身の成長と自立を強く意識し、そのための行動を起こし始める。その結果、学生たちは自分の可能性と自己効力感への気づきを得る。</p> <p>武庫川女子大学は教育推進宣言で「自立した学生を社会に送り出す」と謳う。本科目はその一助となることを目指す。</p>	<p>この授業において受講生は次のようなスキルとマインドを涵養する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ロールモデルの発見。</li> <li>②成長意欲と失敗の積極的受容とチャレンジ精神。</li> <li>③主体性と行動力。</li> <li>④努力の価値認識。</li> <li>⑤キャリア意識の醸成とポジティブ思考。</li> <li>⑥自分の居場所への誇りと自己肯定感。</li> <li>⑦武庫川女子大学の教育理念の理解。</li> <li>⑧将来の夢と目標の醸成。</li> <li>⑨学生生活の見直し。</li> <li>⑩学習意欲の増進。</li> <li>⑪社会的関心。</li> <li>⑫読書習慣（本と新聞）。</li> </ol>
18GCRD0012	キャリアカウンセリング入門	全て	<p>この科目は、キャリアカウンセリングの基礎知識を学び、それを実際に経験することを通して、自身のキャリア形成に役立てることが大きな目的となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアカウンセリングの基礎知識が分かる。</li> <li>・自分理解・他者理解を深め、自身のキャリア形成に活用できる。</li> <li>・傾聴力・発信力・問題把握力等、コミュニケーション力がつく。</li> <li>・将来の職業選択の一つとしてキャリアカウンセリングを考えることができる。</li> </ul>
18GCRD0013	キャリア心理学とキャリア設計	全て	<p>この科目では、「キャリア心理学」におけるさまざまな理論や実践方法を知ることによって、より広い視点から、自らの「キャリア設計」を考え、実践していく力を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの理論の視点の違いを知ることによって、広い視点で、自身のキャリアを考えることができる。</li> <li>・意見交換を通して、考え合い・学び合う力がつく。</li> </ul>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GCRD0014	成果を上げる協働力	全て	一般的に採用で重視していること、また、学生に足りないと感じていることで、最も多かったのは「主体性」であると言われている。この授業は、仕事をしていく上で求められる「主体性」の獲得を目的にしている。すなわち、仕事そのものを自ら創造し、プロセスを設計し、目標を達成していくことである。こうした一連の活動を体験的に学習し、主体的に物事に取り組む基礎となる能力や論理的思考の獲得をめざしていく。	社会人として仕事をしていく上で求められる、チームワークを發揮して協働の実を高めていくことを実体験として学習することができる。そして、その中で経済産業省の提唱している「社会人基礎力」（職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力）-前に踏み出す力/考え抜く力/チームで働く力-の体験的獲得が期待できる。これらは今後社会人として、主体的・自律的に仕事をしていく上で必須の能力である。こうした能力を「武庫女をより魅力的な大学にするには」という課題をチームで取り組むことによって獲得していく。
18GCRD0015	社会人基礎力とキャリアプラン	全て	企業が採用面接で重要視するポイントはいくつか存在します。中でも表現の仕方や表情などは大変重要なポイントです。そういったシグナルセオリーを理解し、実際に模擬面接等を体験することで社会人にとって基本的なことは何か知る内容です。	社会人基礎力とは何かを考えて、社会人とのコミュニケーションでは何が重要かを明らかにします。そしてどのように表現して伝えていくかを共有していきます。また実際に練習しながら表現力を高めていく。
18GCRD0016	企業での女性活躍と働き方改革	全て	『1億総活躍社会』の実現に向け、企業での女性活躍が、今まで以上に求められており、「女性活躍と働き方改革」を理解する。	社会人として活躍する為に必要な企業に関する基礎知識と、企業の中での女性活躍・働き易さ、働き方改革等の組織の中で活躍するために必要な能力について理解し、主体的なキャリア形成への態度を習得する。
18GCRD0017	企業で役に立つ情報収集と企画力	全て	企業でのマーケティング部門（企画部門）等で活躍する為にマーケティング力、新事業企画・新商品企画の流れを理解するとともにデータ分析力やプレゼンテーション力の基礎を身につける。	1、企業でのマーケティング活動、事業企画、新商品企画の進め方について講義およびグループワークを通じて体得する。 2、基本的なデータ分析の手法を理解する。 3、効果的なプレゼンテーション力を身につける。
18GCRD0018	グローバル化と企業の海外展開	全て	業種や規模に関わらず、どのような企業でも、「輸出入・海外販売・海外生産・インバウンド需要の対応等」で海外との係わり合いは、今後益々拡大していく。そのような状況の中で、変化の激しい世界の経済動向・企業の動向などを理解しつつ、グローバル力を高めることによりキャリア形成・就職活動に役立たせる。	1、学生の就職活動または就職後に必要な基本的な海外関連知識を習得 2、企業の海外展開の新たな潮流および動向の理解。（日本企業&海外企業） 3、グローバル力（戦略的思考力&異文化の理解等）の強化
18GCRD0019	文章表現の基礎	全て	文章表現力は学生生活や卒業後の仕事と人生において必須のスキルである。例えば、授業中のコメントシート、レポートや卒論の作成だけでなく、留学その他の志望理由書や就活のエントリーシート、社会人に求められる仕事上の企画書や報告書の作成、そして日常的にやりとりするメール文など、自分の考えを文章にまとめて表現する場面は多い。「伝える」と「伝わる」は違うが、自分の考えを読み手に分かるように書いたり話したりすることは、実際は非常に難しい。この科目では、論理的思考力とコミュニケーション力の基礎となる文章を読み解く力と自分の考えを言語化する力の育成を目指す。併せて自分を表現することを通して、自分の価値観を知り、学ぶ楽しさと自分の成長を実感する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な文章読解力が身につけられる。</li> <li>「情報収集→情報分析→課題発見→構想→表現」という問題解決のプロセスに即した文章作成の方法が身につけられる。</li> <li>資料や情報をもとに、自分の主張を論理的に述べるレポート作成のスキルが身につけられる。</li> <li>自己を「ふりかえる」力が身につけられる。</li> </ul>
18GCRD0020	プレゼンテーションの基礎	全て	プレゼンテーションは学生生活や卒業後の仕事において重要なスキルとなる。例えば、授業での口頭発表、ゼミの研究発表、留学その他の活動報告、就活での自己PR、社会人に求められる仕事上の企画や報告の発表など、自分の意見や主張を人前で発表する機会が多い。この科目では、プレゼンテーションとは何かを理解し、限られた時間で伝えたいことを伝えたい相手に、最適な手段を用いて伝え、論理的思考力と聴き手を納得させる能力の獲得を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の活用法が身につけられる。</li> <li>目的に応じて、効果的なプレゼンテーションのための企画書を作成することができる。</li> <li>聴き手を意識した独創性と説得力の有るプレゼンテーションがおこなえる。</li> <li>文章や発表を通して、批評力が身につけられる。</li> </ul>
18GCRD0021	日本語表現の基礎	全て	文章を的確に読み、取得した情報に対して自分の考えや主張を「論理的に」「わかりやすく」伝える文章作成力を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の解釈や文章作成の基礎を学び、文章表現の実践力、つまり文章で発信する力を身につけることを目標とする。</li> <li>具体的には100字程度の報告書作成から800~1,000字程度のレポートを構成し、書ききる文章力を習得することを目指す。</li> </ul>



言語・情報科目群（言語リテラシー科目）

1. 英語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0101	英 会 話 入 門	全て	英会話学習が初めての学生が、他の受講者や外国人講師と身近な話題について積極的にコミュニケーションをとることにより、英語で話す楽しさを実感し、初歩的な英会話力を身につけることを目的とする。	自分自身のことや身近な話題について、簡単な英語表現を使って2-3文程度で会話ができる。
18GLIL0202	英 会 話 基 礎	全て	英会話学習に興味がある学生や一定の英語力のある学生が、他の受講者や外国人講師と積極的にコミュニケーションをとることにより、日常英会話の基礎を身につけることを目的とする。	身近な話題について、既習の文法事項を使い、3-5文程度で自分の意見を述べることができる。
18GLIL0303	英 会 話 発 展	全て	英語での会話を楽しみ感じられる程度の英会話力を持った学生が、他の受講者や外国人講師と積極的にコミュニケーションをとることにより、会話をさらに広げていく技術を習得することを目的とする。	様々な話題について、英語で積極的かつ自信を持って意見交換ができる。
18GLIL0104	英 語 再 入 門	全て	異文化を理解しグローバルな視点で活躍するための英語力の基礎を習得する。基本的な文法事項をベースとして、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、実際に英語を使う経験を通して学ぶ。「6年間英語を学んだが、少しも英語が話せない」「もう一度英語に取り組みたい」という学生の声に応えることを目標とする。	(1) 英語の基礎を学び直す (2) 多文化・異文化に関する知識の理解 (3) 英語が苦手という意識の克服 (4) 英語を知ると広がる世界を知ること、英語を学習する意識を高める
18GLIL0205	やさしいビジネス英語	全て	グローバル化が進展し、仕事上で英語を使う機会がますます増えることが予想される中、実際のビジネスシーンでの英語表現を学び、将来の就職活動を見据えて準備することを目的とする。	①電話応対や海外からの顧客接待など、具体的なビジネスシーンでのやり取りが聞き取り、自分の言葉で言うことができる。 ②同僚などとの砕けた表現と顧客などとのフォーマルな表現を使い分けることができる。
18GLIL0206	ネ ッ ト で 学 ぶ 英 語	全て	「グローバル化」ということばが聞かれるようになって久しいが、グローバル化をめぐる問題について深く考察する機会に恵まれている学生は少ないのではないか。本授業では「グローバル化」について学んだ後、教育とジェンダー、貧困と飢餓、飲料水の確保、難民など世界で起こっている問題に関する必修語彙や概念について学び、現況を知る。その上でネットを使ってこれらの問題に関する情報を入手する能力を養ったり、考察する力を養う。	世界で起こっている様々な事象に関心を持ち、自主的に調べ、学習できるようになる。さらには、それらの事象に関わる情報や活動を面的に捉えるのではなく、多面的に捉える力を養う。
18GLIL0107	英 語 リ ス ニ ン グ 入 門	全て	リスニングが苦手という学生が、「音声ルールを知る」「語彙を増やす」ことにより、確実にリスニング力を向上させる。	①音声ルールを知る 英語音声を書くときのルールを知り、英語と日本語の音声体系の違いを認識・理解できるリスニングを行い、英語を聞き取る一助とする。 ②語彙を増やす 高校までに学んだ語句や慣用表現を聞き取り正しく発音できるように復習すると同時に、新しい表現を正確なスペリングとともに確実に覚える。 ③英語圏の文化や生活、ビジネスの流儀を理解する
18GLIL0308	英 語 ニ ュ ー ス を 読 む	全て	話題のニュース記事を原文で読み、英文読解に慣れる。英字新聞の読み方を知る。	背景知識を駆使すれば簡単な内容の英字新聞の記事内容を概ね理解することができる。 英語ニュースを読むために必要な語彙を理解できる
18GLIL0109	T O E I C リ ス ニ ン グ (初 級)	全て	TOEICのリスニングは、ナチュラルスピードで、ビジネスシーンの会話やアナウンスを聞き取り、重要なポイントのみを理解することが求められる。初級レベルでは、設問形式に慣れ、聞こえた通りに発音することで、リスニングの基礎力を築く。	Part 1:人物の行動・建物や乗り物などの写真を見て瞬時に状況を把握し、問題を予測することで、正答を導くことができる。 Part 2:疑問詞の聞き取りから、質問内容を正確に予測し解答できる。 Part 3:2人の会話の大筋を把握し、設問に対応できる。 Part 4:アナウンス・広告等の大筋を把握し、効率よく解答できる。
18GLIL0210	T O E I C リ ス ニ ン グ (中 級)	全て	基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れている学生 (TOEIC/L&Rスコア450点程度以上) を対象として、TOEICリスニングセクションのさらなるスコアアップを目指す。	TOEICリスニングセクションの各パートの頻出表現、出題パターンだけでなく、リテンションなどのリスニングスキルの学習を通して、全体的な内容を理解したり、必要な情報を聞き取るコツを身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0111	TOEICリーディング(初級)	全て	TOEICのリーディングパートは、文法・語彙・ビジネスレター・メール等多岐にわたる設問に対応できる英語力が必要とされている。授業では、それぞれのパートの設問形式に慣れ、語彙力、文法力を向上させ、英文読解の基礎力を築く。	Part5・6：文法問題、語彙問題等を見極め、効率よく解答することができる。 Part7：比較的易しい問題の演習を通し、スキミング（大量の文章から特定の情報を探し出す）、スキミング（文章の要点をすくい取る）ができる。
18GLIL0212	TOEICリーディング(中級)	全て	基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れている学生（TOEIC/L&Rスコア450点程度以上）を対象として、TOEICリーディングセクションのさらなるスコアアップを目指す。	TOEICリーディングセクションの攻略ポイントを学び、限られた時間内にできるだけ多くの情報を正確に処理する能力を身につける。
18GLIL0213	English for My Life	全て	To improve your speaking and listening skills in English with interesting topics about your own interests and lives!	To develop confidence and fluency in speaking and listening skills in English.
18GLIL0114	基礎英語	全て	日本人が一番苦手とする「自分で考えて意見を言う」という力を身につけるために、学生が好奇心を持って読み進められるような読み物の読解を通じて、基礎的な読解力・語彙力を身につけるとともに、それについての意見表明なども行えるようにする。	①基礎文法の理解をもとに200-250語程度の英文を読むことができる。 ②①の英文について3～5文程度で自身の意見をまとめ、英語で発信することができる。
18GLIL0115	英語リーディング(初級)	全て	英語は初級レベルで、長文読解も苦手という学生が、まずはパラグラフの構造や読み方のコツを知り、効率的、かつ確実に内容を理解できるようになる。	パラグラフの構造に様々なパターンがあることや見落としはならないポイントを押さえる。そのような学習を通じて、長文を読むことに自信をつける。
18GLIL0216	英語リーディング(中級)	全て	現在進行する地球規模の様々な問題、特に健康に関する課題について正確に早く読めることを目指し、英語文献も理解できる能力の向上をはかる。	時事関連の理解に必要な語彙、表現を身につけるとともに語句のつながりに意識しながら正確に素早く読めるようになることを目標とする。
18GLIL0117	旅行に役立つ英会話	全て	旅先で言葉（英語）の壁に阻まれることなく、有意義な時間を過ごすために必要な英語力を身につけることを目的とし、海外旅行に必要な英語表現を学ぶ。	出国から帰国までの想定される26のシーンで基本的なコミュニケーションが図れる会話力を身につけることを目標とする。
18GLIL0318	TOEIC(上級)	全て	難易度が高い問題に数多く取り組むことにより、一層のスコアアップを目指す。	TOEICの両パートともに中・高難易度の演習問題に触れ、TOEIC700点の問題を容易に解くことができる。
18GLIL0319	TOEFL入門	全て	海外の大学・大学院、日本の大学院の一部で受験時にTOEFLスコアの提出が求められる。本授業ではそれらの大学・大学院を目指している人や、よりアカデミックな内容の英語を学びたいという人が、その第一ステップとしてTOEFLの形式並びにポイントを学び、TOEFL ITPの3Sectionで求められる力を習得することを目的とする。	TOEFLに必要なリスニング力、語彙力、文法力、読解力の基礎が習得し、今後の留学準備に役立てることができる。
18GLIL0220	English for Studying Abroad	全て	Encountering a new culture and using a new language are part of the challenge of studying abroad. In preparation for traveling or studying abroad, students can enjoy the process of getting ready in this course. The objective of this class to help students think about their own expectations about the customs and style of life in another country.	Learning about the communication or academic styles of another culture is part of the adventure of studying abroad. When students compare their ideals of living abroad to the reality of it, there could be moments of culture stress. In this course, students can learn about their personal styles of learning and communication as they discuss about common topics introduced through activities and discussions.
18GLIL0121	TOEIC(初級)	全て	英語力を必要とする企業が増え、就職活動時に学生にスコアを求める企業も増加している。TOEICは、身近な事柄からビジネスに関連する事項まで、幅広くコミュニケーションを行う能力を測る目的で作られているが、学生には馴染みの薄い場面も多く含まれる。本授業では試験の形式に慣れ、英語力の向上と共に効率よくスコアアップをはかることを目的としている。	①TOEIC500点を取得できる。 ②リスニング到達目標 ・音法（音声変化や音のしくみ）が理解できる。 ・1度に数行単位の英文を聞き取り、意味の把握ができる。 ③リーディング到達目標 ・文型、品詞が理解できる。 ・TOEIC特有の場面設定で使われる語彙・表現が理解できる。
18GLIL0126	English for Beginners	全て	This is an English conversation course for beginners and pre-intermediate learners. The course will be conducted in a very active way in an enjoyable environment. The first objective is for students to gain confidence in speaking and listening about everyday topics and their own interests and lives in English. The second objective is for students to improve their English communication skills in speaking and listening.	Speaking skills practiced in this class include pronunciation, using classroom English, asking questions, and other conversation strategies. Listening skills include understanding everyday conversations and features of natural pronunciation. By practicing these skills, students will be able to communicate effectively and confidently, even as beginners.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0127	英語入門	全て	英語が苦手な学生が、「自分のことを伝えられるようになる」ことで、英語を使ったコミュニケーションの「楽しさ」を学ぶ。	①英語の発話に必要な基礎文法が理解できる。 ②自分自身について、3～4文程度の英語で発話ができる。
18GLIL0228	English Using Multimedia	全て	The course objective is to develop students skills and abilities in listening and reading (receptive skills) in English, via a variety of Multimedia including TV commercials, DVD's (drama, comedy or movies) , You Tube, Ted Talks & English songs.	To primary goal of this class is to develop student skills in both listening and reading via use of Multimedia. Through careful listening and vocabulary-building activities, students will be able to understand spoken English at native speed. A secondary goal is to develop the skills of reading and writing, to complement and reinforce the achievement of the primary goals. The prescribed textbook will be used for these reading and writing activities.
18GLIL0229	American Society in Movies	全て	Movies are a combination of language learning and storytelling. Students can hear natural expressions and vocabulary that are connected to specific themes in movies, such as family values, childcare, education and relationships. Societal values can be observed through movies, and students will add to their knowledge of American society in this class.	Within a movie, there are specific social behaviors and language patterns that can be identified as cultural norms. Students will practice identifying and describing common issues as they watch movie clips about American society. The goal of this course is to increase students' awareness of the values being reflected in the decision-making of the characters in the film, as well as, gain language skills to describe their understanding of these common issues.
18GLIL0231	International Sightseeing	全て	Where in the world do you want to travel? In this class, students can explore many places by enjoying videos of famous places around the globe. The objective of this class is to encourage curiosity to discover new places and new ways of living on this planet. From every corner of the world, we can find things that we have in common and things that are original to that place.	What accents of English have you heard? One goal of this class is to enjoy listening and speaking with a variety of English sounds. Another goal of this class is to become more globally minded and to have some basic knowledge of regional differences of northern and southern continents. Each city and country has a icon or custom that we can see or learn, which creates a positive impression of that place.
18GLIL0332	Trends in Society	全て	Everyday something new is being made, being discussed, being explored. Through our personal interests and ideas, we can enjoy sharing together about the current trends in society. Students will discuss about interesting current issues and expand their knowledge about how they contribute to the trends in Japan and internationally. Students will practice their skills of critical thinking and learn to express their opinions clearly as they present and discuss information together.	New blogs and sources of information are easy to find through online sites, but it is important to know how to evaluate this information. The skill of evaluating sources of information will be emphasized in this class. Students can enjoy developing their English skills as they learn to discuss about current topics that are related to their personal interests. The focus of this course is to increase the students' knowledge of the ways that fashion, entertainment, history and popular culture connect to past and current trends.
18GLIL0333	Short Mystery Stories	全て	Reading a mystery story means finding the important words (clues) that help the reader find the important details in solving the case. The objective of this class is to use reading skills and logic skills to identify 'who did it' in each story. Each chapter has its own crime to be solved, so students can practice using logic skills throughout this class.	Students in this class can identify the specific parts of a mystery story and help each other to guess the meaning of the clues (important information). The goal of this class is to enjoy using English expressions commonly found in crime stories and dramas in order to solve the mystery.
18GLIL0247	Successful English Discussion	全て	This is a course that focuses on how to have effective and productive discussions in English. You will have different kinds of discussions with your classmates on a variety of topics. This will be a very active class, so be prepared to participate.	At the successful conclusion of the course, students will demonstrate increased proficiency in conducting English discussions. This includes: 1) Sharing and supporting opinions 2) Making and supporting suggestions 3) Negotiating and making decisions 4) Synthesizing all of the above skills into a single discussion
18GLIL0248	ICT for Everyday Life	全て	While developing computer skills in English, you will learn about different cultures, financial literacy, working, and helping others. This course will be useful for learning about the world and the different ways to use computers in your life, as well as improving your English language skills.	At the successful conclusion of the course, students will demonstrate increased computer literacy and computer-related English proficiency.

## 2. 英語チャレンジコース

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0240	Speaking & Listening I	選抜された学生のみ	Students will build strong communication skills during this term. The first objective is for students to develop the speaking strategies necessary to have fluent conversations in a variety of advanced situations. The second objective is for students to develop the listening proficiency to understand natural English as it is actually spoken.	Speaking skills practiced in this class include circumlocution, using vague language, using discourse markers, paraphrasing, shadowing, and performing confirmation checks. Listening skills include linking, sentence stress, weak vowels, deletion, changed sounds, and other features of natural English speech. By practicing these skills, students will be able to communicate effectively and confidently.
18GLIL0241	Speaking & Listening II		Using the skills from Speaking and Listening 1 class, students will continue to build strong communication skills during this term. The first objective is for students to develop the speaking strategies necessary to have fluent conversations in a variety of advanced situations. The second objective is for students to develop the listening proficiency to understand natural English as it is actually spoken.	Speaking skills practiced in this class include circumlocution, paraphrasing, backchanneling, and linking information together. Listening skills include being able to identify and understand sentence stress, weak vowels, linking, reduced forms, deletion, and other features of natural English speech. By practicing these skills, students will be able to communicate effectively and confidently.
18GLIL0344	Speaking & Listening III		Using the skills from previous speaking and listening classes, students will continue to build strong communication skills during this term. Students can accelerate their progress in speaking and keep a record of their own learning with technology tools that will be introduced in this class. This generation of learners can enjoy more opportunities to use English inside and outside of the classroom.	Students work together to improve their English communication ability as they continue to use the strategies that they acquired during the challenge course. The goal of this course is to increase the students' confidence to express their opinions clearly as they describe their personal experiences and ideas in English.
18GLIL0242	Basics for Presentation I		バランスのとれた高い英語力（話す・聞く・書く・読む）＋社会人基礎力を身につけることを目標に3年間に渡り学習を継続するチャレンジコースにおいて、プレゼンテーション能力は必須である。コース初年度にそのベースを築くために必要な項目をテーマ毎に学びながら、実際のスピーチを繰り返し行い「人前で話す」ことに慣れる訓練を行う。	TOEIC 550-600点程度 腹式呼吸を身につけ適切な音量で話すことができる 英語で簡単な内容のスピーチを行うことができる（2分程度）
18GLIL0243	Basics for Presentation II		バランスのとれた高い英語力（話す・聞く・書く・読む）＋社会人基礎力を身につけることを目標に3年間に渡り学習を継続するチャレンジコースにおいて、コース初年度にそのベースを築くために必要な項目をテーマ毎に学びながら、実際のスピーチを繰り返し行い「人前で話す」ことに慣れる訓練を前期同様継続する。	TOEIC 600-650点程度 英語で即興スピーチを行うことができる（2分程度） 聴衆の反応をコントロールできる
18GLIL0235	Grammar for Communication		英語の読解力、作文力、コミュニケーション能力向上に必要な不可欠な文法・構文の知識を修得する。	文法演習により文の構造への理解を深め、情報の意味や意図を正しく把握することができる。 また、TOEICの文法・語法問題のスコアアップを目指す。
18GLIL0225	Reading & Writing		前期で学習した文法・構文の知識を、実際のリーディングやライティングに応用することを主な目的とする。	さまざまなトピックやスタイルのリーディング課題を通して、興味や背景知識の幅を広げ、情報量の多い英文を速く、正確に読むことができる。また、英文パラグラフ・ライティングの構成法を学習し、自分の考えを英語で表現することができる。
18GLIL0336	Presentation I		Public speaking is an important skill to practice because it takes a lot of courage to speak to new groups of people with confidence. Presentations are designed to communicate creative ideas, personal opinions or interesting information to people (classmates) and the objective of this class to prepare students to enjoy giving a variety of presentations.	Some of the skills that students will practice in this class include learning to speak slowly and clearly, using tools of technology (power point), finding sources for information that are trustworthy, and outlining information to make a successful presentation. These goals are measured and recorded by both students and the instructor throughout the course.
18GLIL0337	Presentation II		Delivering presentations is an effective way to develop language ability and confidence. Presentations require you to communicate creative ideas, personal opinions, and interesting information to others in a clear and easy to understand way. It requires knowledge of language, technique, and your audience in order to give an effective speech. In addition, learning to give a presentation is a satisfying way to communicate in English. To this end, the objective of this class to prepare students to effectively give a variety of presentations.	Some of the skills that students will practice in this class include learning to speak slowly and clearly, using presentation technology (PowerPoint, Prezi), finding sources for information that are trustworthy, and outlining information to make a successful presentation. These goals are measured and evaluated by both students and the instructor throughout the course. This class will help students to prepare for future job interviews and other projects that they may need to do in their future occupations.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0330	Writing for Daily Use		In addition to improving English proficiency through writing activities, students will study important elements of writing such as paragraph and essay organization, topic and concluding sentences, transitions, cohesion, and consideration of audience. Although writing-focused, students will improve their English speaking and listening skills as compositions form the basis for discussions and conversation throughout the course.	The course has the following goals for students: 1) To improve English writing complexity, accuracy, and fluency 2) To develop understanding of English written discourse 3) To use writing as a basis for meaningful discussions 3) To develop practical writing skills that are practical in everyday life, both in university and in society
18GLIL0323	English for Careers		広義にCareerの意味を捉え、仕事・社会・家庭生活の中で英語の使用が要求される場面に適切に対応できる英語力を身につけることを目的とする。	仕事における英語使用場面に対応できる（電話対応、メール対応など） 家庭における英語使用場面に対応できる（グローバル化する地域社会への対応など） 社会における英語使用場面に対応できる（インバウンドにおける「おもてなし」レベルの対応） TOEIC700点程度のスコア取得を目指す
18GLIL0324	Reading & Discussion		変動する世界情勢について構造的に理解することを目的としたテキストを読んだ上で、意見を述べたり、ディスカッションできるようになる。	長文読解に慣れる。世界情勢に関する幅広い知識を英語で得ると同時に、自分の意見を的確に発信できる。TOEIC700点取得。
18GLIL0438	Current Events I		What important events are happening in Japan and around the world today? Finding answers to that question is the main objective of this class. Some changes in society happen quickly and we need to stay updated about events that are changing our world. We are part of "history in the making" and students in this course will interact together about these current events.	Within the global world, we can connect together on a local level by communicating about the events and values that are important to us. Talking about current issues creates an opportunity to think about the personal impact of these events on students' lives. The goal of learning is to find 'your voice' and make a difference in this world. Many questions will be asked during class discussions about how your 'personal footprint' is being made now.
18GLIL0439	Current Events II		Building on the skills and information learned in the Current Events I class, students will continue to evaluate and describe events that are affecting people in Japan and around the world. The future is built on the personal contributions of each person and how they can change the world. In this class, we will look at people who have made a strong impact on this world.	Within the second term, students will change their focus to identifying how current events affect people, both internationally and domestically. The stories that are reported in the news can often be negative, but in this class the goal is to discover the stories about people who have experienced challenging events in their lives and found hope.
18GLIL0422	Reading & Critical Thinking		社会に巣立つ前に知っておきたいビジネスルールについて、各国の文化的背景や社会的な変化を考慮しつつ理解したり、批判的に捉えたりすることができる。その上で、自らの考えを述べたり、ディスカッションできる。	知らないことを知り、理解するだけでなく、批判的に捉えることができる。同時に、自分がなぜそのように考えるのかについて説得力のある説明をできる。
18GLIL0434	Career Workshop		英語チャレンジコース最終年度にあたり、自己表現と相互理解のためのコミュニケーション力の総仕上げを行うことを目的とする。	自身の専門分野について英語で発信できる クラスメートの専門分野について概要を英語で理解できる それぞれの専門分野について英語でディスカッションできる TOEIC800点クリアを目指す
18GLIL0445	Global Communication I		This course will introduce students to structured discussions and discussion roles. These will help us to have deep, meaningful, and successful interactions. There will be a variety of discussion formats including short debates. Students will develop both their communicative abilities and an understanding of important world issues while learning valuable language study skills to tackle difficult topics.	This course has the following goals: 1) To improve students' communicative abilities, including conversational strategies and listening skills. 2) To develop students' overall English proficiency, including the vocabulary knowledge necessary to deal with a variety of difficult topics. 3) To increase students' knowledge of various world issues and discover what is most important to themselves on an individual level.
18GLIL0446	Global Communication II		Building on the skills developed in Global Communication 1. This course will prepare students to have deep, meaningful, and successful interactions while discussing a variety of global topics and issues. To this aim, students will develop both their communicative abilities and a deep, critical understanding of important world issues.	This course has the following goals: 1) To improve students' communicative abilities, including conversational strategies and listening skills. 2) To develop students' overall English proficiency, including the vocabulary knowledge necessary to deal with a variety of difficult topics. 3) To increase students' knowledge of various world issues and discover what is most important to themselves on an individual level.

### 3. ドイツ語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0149	ドイツ語 I	全て	ドイツ語の骨組みを修得する。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。テープ・ビデオなどを利用し、口頭練習など、受講生の積極的参加を前提とする。文法面では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。	この授業を通じて受講生が、ドイツ語テキストの理解やコミュニケーションの際に必要な知識を獲得するのが到達目標である。客観的な指標としては、ドイツ語検定試験4級・5級に合格可能な能力を身につけることである。
18GLIL0250	ドイツ語 II	全て	ドイツ語Iで習得した骨組みに肉付けをほどこす（Iで省いた文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかる）。4技能のバランスをとること、テープ・ビデオの利用などはIと変わらないが、担当者によって、独自の方向性が生まれる（旅行目的・料理関係・ファッションへの関心など）。	異文化に関する知識の理解とドイツ語中級文法の習得。

### 4. フランス語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0151	フランス語 I	全て	フランス語の骨組みを修得する。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全般をバランスよく学習する。テープ・ビデオなどを利用し、口頭練習など、受講生の積極的参加を前提とする。文法面では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。	第一に学生がフランス語で自己紹介ができるようになること、第二に学生がフランス語検定5級を受験できる程度の文法を習得すること。
18GLIL0252	フランス語 II	全て	Iで修得した骨組みに肉付けをほどこす（Iで省いた文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかる）。4技能のバランスをとること、テープ・ビデオの利用などはIと変わらないが、担当者によって、独自の方向性が生まれる（旅行目的、料理関係、ファッションへの関心など）。	第一に生徒がフランス語での自己紹介だけでなく、簡単な会話ができるようになること、第二に生徒が絵本など簡単なものであれば原書で読めるようになること、第三に生徒がフランス語検定4級を受験できる程度の文法を習得すること。
18GLIL0153	フランス語 I A	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。	①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話すことができる。
18GLIL0154	フランス語 I B	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。	①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話すことができる。

### 5. 中国語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0155	中国語 I	全て	中国語の発音、文型を習得する。テキストに基づいて「聞く・話す・読む・書く」の技能全般をバランスよく学び、総合的な中国語力を身につける。	正しい発音と基本文法を理解し、基礎的な各表現を聞く、話す、読む、書くことができる。
18GLIL0256	中国語 II	全て	中国語Iで学習した内容を定着させ、文法の知識を深めるとともに語彙力を高め、「聞く・話す・読む・書く」総合的な能力を向上させる。	(1) 簡単な日常会話ができる。 (2) 簡単な文章、物語を読解できる。 (3) 「中国語検定試験」、「HSK漢語水平考試」を受験可能な能力を身につける。

## 6. イタリア語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0157	イタリア語初級	全て	<p>学生は授業を通じて次の5点をを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生はイタリア語の骨組を修得する。</li> <li>2. テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をバランスよく学習する。</li> <li>3. 文法面では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とする。</li> <li>4. イタリアの生活文化に触れ、大筋を理解する。</li> <li>5. グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識を修得する。</li> </ol>	<p>学生は授業を通じて次の2つの目標の到達に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生は初級ではイタリア語特有の発音や、活用と語尾変化の基礎などをしっかり押さえた上で、簡単な日常会話の発話練習を行い、基本的な表現に習熟する。</li> <li>2. 「イタリア語初級」を履修、修了して、基礎力が定着したと認められる学生は「イタリア語中級」（ネイティブ講師指導）でさらなる語学力アップに挑戦する。</li> </ol>
18GLIL0258	イタリア語中級	全て	<p>レベルA1（ヨーロッパ言語共通参照枠）のイタリア語を使いこなせるようになる（2018年度 前期～後期）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションの表現の繰り返しを通して、イタリア語での会話ができるようになる練習</li> <li>2. イタリアでの留学に役に立つ会話</li> <li>3. イタリアの文化に触れる</li> </ol>

## 7. スペイン語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0159	スペイン語 I	全て	<p>スペイン語を初めて学習するものを対象とし、スペイン語文法の基礎を身につけることを目的とする。平易な文章の理解、および簡単な日常会話の習得を目的とする。</p>	<p>基本文法の確認問題や発話練習を通じて、日常的に使われるスペイン語表現を学生が理解し、基本的な会話表現ができるようになることを目指す。</p>

## 8. ハングル

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0160	ハングル I	全て	<p>韓国語の基礎を習得する。特に「聞く・話す」に重点を置いた授業を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 韓国旅行をしたり、韓国人の友達を作ったりできる最低限の韓国語を身につける。</li> <li>2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。</li> </ol>
18GLIL0261	ハングル II	全て	<p>韓国語での意思疎通に必要な中級の語尾や語彙を習得し、それらを使った会話ができるようになることを目指す。また韓国語での情報発信能力向上にも力を入れる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 韓国人と円滑なコミュニケーションを取れる韓国語を身につける。</li> <li>2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。</li> <li>3. 韓国文化についても学ぶ。</li> <li>4. 日本の文化や、西宮市や兵庫県の名所などを韓国語で紹介する練習も行う。</li> </ol>

## 9. 手話

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0262	手話	全て	<p>日本で使用されている言語の一形態として、聴覚障害者の言語である「手話」の基本を学ぶ。</p>	<p>手話であいさつや自己紹介、ごく身近な話題などの簡単な会話ができる。</p>

## 10. 国際センター主催 語学留学プログラム

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0263	特別英語演習 I	全て	<p>英語を母語とする社会において生きた英語によるコミュニケーションの喜びを経験することによって、英語がグローバル・シチズンへのパスポートであることを認識する。</p>	<p>異文化を直接経験することによって、欧米の文化を正しく理解し、同時に自国文化を再認識することを目標とする。</p>
18GLIL0264	特別英語演習 II	全て	<p>英語を母語とする社会において生きた英語によるコミュニケーションの喜びを経験することによって、英語がグローバル・シチズンへのパスポートであることを認識する。</p>	<p>異文化を直接経験することによって、欧米の文化を正しく理解し、同時に自国文化を再認識することを目標とする。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0265	特別中国語演習Ⅰ	全て	グローバルな考え方を持つため中国語でコミュニケーションできる経験をつちかう。	中国の文化・歴史・生活を知り、隣接する東アジアの国の発展・情勢を学び、他国と日本の違いに触れることを通じて基本的な中国語を習得する。
18GLIL0266	特別中国語演習Ⅱ	全て	グローバルな考え方を持つため中国語でコミュニケーションできる経験をつちかう。	中国の文化・歴史・生活を知り、隣接する東アジアの国の発展・情勢を学び、他国と日本の違いに触れることを通じて基本的な中国語を習得する。
18GLIL0267	特別ハングル演習Ⅰ	全て	グローバルな社会に必要な外国語の中の韓国語に触れ、経験を通してその重要性を知る。	韓国社会において生きた韓国語を学び、韓国文化を実体験することによって、両国の人々の考え方・感じ方を正しく理解し、東アジアにおける自文化の位置づけを再認識することを目標とする。
18GLIL0268	特別ハングル演習Ⅱ	全て	グローバルな社会に必要な外国語の中の韓国語に触れ、経験を通してその重要性を知る。	韓国社会において生きた韓国語を学び、韓国文化を実体験することによって、両国の人々の考え方・感じ方を正しく理解し、東アジアにおける自文化の位置づけを再認識することを目標とする。

### 11. 日本語（外国人留学生のみ履修できます）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0269	日本語初級Ⅲ	SA	日本語初級Ⅰ・Ⅱで習得した文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり話者の気持ちをより細かく伝える表現を習得する。	物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細かく伝えられるようになる。
18GLIL0270	日本語初級Ⅳ	SA	日本語初級Ⅰ・Ⅱで習得した文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり話者の気持ちをより細かく伝える表現を習得する。	ひらがなやカタカナ、簡単な漢字を習得し、やさしい文章が読めるようになる。
18GLIL0271	日本語中級Ⅰ	SA	中級文法・文字語彙を習得し、どのような場面や状況においても、やや抽象的な表現を用いて、無理なく速く情報を得る能力を養う。	(1) 年2回の日本語能力試験N3に水準を合わせる。 (2) 文法、文字語彙、読解、聴解の4技能をバランスよく使えるようにする。 (3) レベル別ライト作品を多読する。
18GLIL0272	日本語中級Ⅰ	SA	中級文法・文字語彙を習得し、どのような場面や状況においても、やや抽象的な表現を用いて、無理なく速く情報を得る能力を養う。	(1) 年2回の日本語能力試験N3に水準を合わせる。 (2) 文法、文字語彙、読解、聴解の4技能をバランスよく使えるようにする。 (3) レベル別ライト作品を多読する。
18GLIL0273	日本語中級Ⅱ	SA	中級文法・文字語彙を習得する。	どのような場面や状況においても、やや抽象的な表現を用いて、無理なく速く情報を得る能力を養う。
18GLIL0274	日本語中級Ⅱ	SA	より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得する。	漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。
18GLIL0275	日本語中級Ⅲ	SA	より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得し、漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。	(1) 年2回の日本語能力試験N2に水準を合わせる。 (2) 文法、文字語彙、読解、聴解の4技能をバランスよく使えるようにする。 (3) メディアを効果的に利用し、自分の考えを豊かに表現する。
18GLIL0276	日本語中級Ⅲ	SA	より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得し、漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。	読む・書く・聞く・話すの四技能の習得を目指す。
18GLIL0277	日本語中級Ⅳ	SA	より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得する。	漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。
18GLIL0278	日本語中級Ⅳ	SA	より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得する。	漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。
18GLIL0279	日本語・上級Ⅰ	SA	社会生活に必要な総合的な日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と言語運用能力の育成を図る。 日本語能力試験1級の水準に合わせる。	学生が日本語での「論理的な文章の書き方」の学びを通して、以下のことを目標とする。 ①論理的な思考方法を身につけること。 ②論理的な文章の展開方法を学び、文章構成を考えること。 ③説明的文章を多く読み、内容、構成、論理の組み立て方に注意すること。 ④日本語の新聞が自由に読め、理解できること。
18GLIL0280	日本語・上級Ⅱ	SA	日本の大学で学ぶために必要な日本語を習得する。	日本の大学の講義を聴き、意見発表や報告ができる総合的な日本語能力を養う。



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLIL0281	日本語・上級Ⅲ	SA	社会生活に必要な総合的日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と言語運用能力の育成を図る。 日本語能力試験1級の水準に合わせる。	学生が日本語での「論理的な文章の書き方」を学ぶことを通し以下のことを目標とする。 ①論理的な思考方法を身につけること。 ②論理的文章の展開方法を学び、文章構成を考えること。 ③説明的文章を多く読み、内容、構成、論理の組み立て方に注意すること。 ④日本語の新聞が自由に読み、理解でき、それについての意見発表、討論ができること。
18GLIL0282	日本語・上級Ⅳ	SA	日本の社会で活動するために必要な日本語を習得する。	日本の社会で必要な一般知識を学び、情報を収集し意見表明や報告ができる総合的な日本語能力を養う。

#### 言語・情報科目群（情報リテラシー科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLII0001	Accessデータベース基礎	全て	データベースソフト、Accessの操作方法と活用方法を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Accessの基本的な操作ができるようになること</li> <li>基本的なデータベースの概念が理解できること</li> </ul>
18GLII0002	Excelで学ぶ基礎統計	全て	情報化社会の進展により、私たちの暮らしの中には多くのデータが溢れている。そのデータを適切な方法で分析し、価値のある情報を見出していくためには、統計学の知識が必要となる。本講義では、統計学の基本的な考え方と統計解析の手法を演習形式で習得することを目標とする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①統計学の基礎的な理論（統計学的な考え方）を理解する</li> <li>②データの収集・整理・要約するための記述統計学を理解する</li> <li>③標本データに基づいて母集団の特徴を推測する推測統計学を理解する</li> <li>④Excelを用いて基礎的な統計解析の手法を身につける</li> </ol> 以上より、本科目を修得することで「様々な現象を数量的に表す能力」および「データを適切に分析する能力」を身につけることを目標とする。
18GLII0003	情報社会を生きる技術	全て	パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する上での情報セキュリティについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを安全に使用できるようになること</li> <li>インターネットの光と影の部分を認識できるようになること</li> <li>使用するパソコンやスマートフォンの情報セキュリティに関する設定ができるようになること</li> </ul>
18GLII0004	Webデザイン基礎	全て	情報社会では、多くの情報が電子化され情報の蓄積・検索・発信が容易に行われるようになった。ホームページ（Webページ）はその典型であるが、この科目では、ホームページの作成に利用されるHTML言語の基礎を学び、ホームページの仕組みを理解することが目的である。さらに、オリジナルのホームページが作成できるようになることが、この科目の目的となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成に利用するプログラミング言語HTMLの特徴を説明できる。</li> <li>HTMLの命令（タグ）について、一連の基礎的なタグの意味を説明できる。</li> <li>ホームページ作成の際、使いやすさ、見易さという観点から、タグを活用できる。</li> <li>最終目標として、オリジナルのホームページを作成できるようになる。</li> </ul>
18GLII0005	Webデザイン応用	全て	インターネットでのサービスの中でもWebによる情報発信は、コミュニケーションメディアとして、とても重要な役割を担っている。この授業では、Webの基礎知識を土台に、実践的なWebサイト制作手法を実習し、サイトコンセプトに応じたデザインを効率よく提案する手法を学ぶ。これによりクライアントの目的に応じたWebサイトが構築できる技能の習得を目指す。	Webサイトを制作できるようになる。 アクセシビリティやユーザビリティを考慮したWebサイトが制作できるようになる。 JavaScriptを用いたインタラクティブなWebサイトが制作できるようになる。 PCとサーバーの役割の違いを理解し、サーバー上にWebサイトを構築できるようになる。
18GLII0006	Scratchによるプログラミング	全て	スマホ、エアコン、テレビ、自動販売機など、私たちの周りにはプログラムにより動作している機器があふれています。米国ではオバマ大統領が2013年にプログラミング教育の必要を述べ、2016年には約5,000億円をプログラミング教育に投資することが決定されました。日本でも2020年より小学校でプログラミング教育が必須化となりました。プログラミングを学習することにより論理的思考ができるようになり、問題解決能力を高めることができます。MITで開発されたScratchとよばれるプログラミング学習環境はレゴのようにブロックを組み合わせて行くだけでプログラミングができます。この科目ではScratchを使用して簡単なゲームやアニメーションを作成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミングの概念を理解する。</li> <li>論理的な思考ができるようになる。</li> <li>問題解決能力を高める。</li> </ul>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GLII0007	グラフィックデザイン基礎	全て	自身の持つ情報を、より直感的にわかりやすく視覚的に表現する力が、これからのプレゼンテーションやコミュニケーションにおいて求められている。DTPなどグラフィックデザインにおいて、必要不可欠な技術となったコンピュータによるデザイン描画について、その基礎を習得する。DTP業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のIllustratorを用いた作品制作を実習し、その制作手法の基礎を習得する。	イラスト、ロゴマーク、図面などの描画や、それを用いた広告物、ポスター、パッケージ、出版物、ノベルティグッズなどの制作では、グラフィック描画ソフトが利用される。その代表的なソフトであるIllustratorを用いて、印刷物やWeb素材の制作手法を学ぶ。 基本的な操作方法からオリジナル作品制作までの手法を習得し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。あわせてグラフィックデザインの基礎知識（色モード、ベクターデータ、文字の構成など）が理解できるようになる。
18GLII0008	フォトタッチ基礎	全て	写真撮影が身近になり、容易に写真による伝達が可能になった。これを編集し、自身が伝えたいイメージをよりわかりやすく表現する力が、これからのプレゼンテーションでの差別化に求められている。写真表現において、必要不可欠な技術となったコンピュータによるフォトタッチについて、その基礎を習得する。写真業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のPhotoshopを用いた作品制作を実習し、その制作手法の基礎を習得する。	画像加工、印刷、イラストレーションなどの分野では、写真編集ソフトが利用される。その代表的なソフトであるPhotoshopを用いて、描画と補正・色調整・写真合成などの制作手法を学ぶ。 基本的な操作方法からオリジナル作品制作までの手法を習得し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。あわせてラスター画像の基礎知識（解像度、階調、圧縮画像形式など）が理解できるようになる。

### 健康・スポーツ科目群（健康・スポーツ科学科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GHSS0001	からだ育てと運動文化	全て	健康づくりと豊かなスポーツライフの実践は生涯にわたる営みである。この土台作りは学校体育の重要な役割である。この役割を自覚し、学校体育のこれまでとこれからを見直し、見通すことが大切である。永く続いている学校体育をいまいちど振り返り、そのあるべき姿を模索するための基礎を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育を生成させた主な体育理論を説明できる。</li> <li>学校体育をめぐる現代的な課題を挙げることができる。</li> <li>学校体育の何を継承し発展させるかを述べるができる。</li> </ul>
18GHSS0002	スポーツと栄養	全て	スポーツ選手における体力の維持、競技成績向上のために、トレーニングとともに適切な食事が重要である。そのために必要な基礎的栄養学知識を身につけ、競技スポーツ、健康の維持・増進のためのスポーツにおける食事に関しても理解を深める。知識の習得と共に、指導の場での応用方法や必要となるスキルを会得する。	五大栄養素のスポーツにおける役割を理解し、それぞれを応用して競技力向上のための活用方法および具体例まで挙げられるようにし、スポーツをする人を対象とした指導媒体を作成できる程度の知識を習得する。
18GHSS0003	障害者とスポーツ	全て	障がい者の親しんでいるスポーツ・レクリエーションの現状を理解し、身近な障がい者へのスポーツ活動の支援に役立てることを目的とする。	障がいについての基本的な知識を身につけることができる。 障がい者のスポーツの捉え方、歴史、組織、競技・種目、ルール等を理解することができる。 障がい者の生活、障がい者のスポーツ活動を通して、社会のあり方について考えることができる。
18GHSS0004	知っておきたい救急処置	全て	病気やけが、緊急時のけがが人や急病人に対して必要な救助や手当の方法について正しく知り、実践できることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>緊急時の対処方法を知り、基本的な応急手当てができる。</li> <li>一次救命の正しい方法を知り、基本的な対処と処置ができる。</li> </ol>
18GHSS0005	ダンス・ムーブメントセラピー	全て	ダンス・ムーブメントをセラピーの視点からとらえ、それらの手法を今後の各自の心とからだの健康づくりーヘルスプロモーションーに役立てる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>安心して学習できる「パーソンセンタード」の環境づくりを学ぶ</li> <li>からだを通じた自己探求を試みる</li> <li>ダンス・ムーブメントが持つヒーリングの側面を体験する</li> <li>グループワークの方法を学ぶ</li> </ol>
18GHSS0006	女性の健康と運動	全て	現代社会では、科学技術の発展や車社会の発達により身体を動かすことが極端に少なくなり、運動不足による弊害も叫ばれている。特に将来、母体と成り得る女性が健康的に美しくなることは非常に大切なことである。今回の授業ではスポーツ科学に基づき女性の健康美を追求していく。	<ol style="list-style-type: none"> <li>過去から現代まで、女性が何を目的として運動を行ってきたかを理解する。</li> <li>体力の基本概念を理解し、女性と男性の体力の違いを明らかにする。</li> <li>女性と男性の体型の違いを理解し、加齢に伴う体型の変化や、時代による体型の違いを明らかにする。</li> <li>肥満の判定基準を理解し、肥満改善の為の運動の方法を学習する。</li> <li>痩せの判定基準を理解し、若い女性にとって痩せ過ぎが如何に怖いことであるかを学習する。</li> <li>更年期障害とは何かについて学習し、更年期障害の対処方を学ぶ。</li> <li>骨粗鬆症とは何かについて学習し、骨粗鬆症の予防法を学ぶ。</li> <li>運動処方とは何かを学習し、安全に目的にあった運動処方を立案できるようにする。</li> </ol>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GHSS0007	運動と健康の科学	全て	現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について、健康科学・運動科学の面から基本的理解を得る。	学生自身がこの授業を通じて、現在の生活習慣を見直し、改善することができる。
18GHSS0008	スポーツの楽しみ方	全て	スポーツには、「する」「見る」「支える」の視点で参加することができる。この授業では技術や戦術、チームビルディング、サポートスタッフの役割等について学ぶ。フェアプレイの精神やチームワークの大切さにも触れ、スポーツの価値を再認識することを目的とする。	自分なりのスポーツの楽しみ方を発見する。 スポーツを生活の一部とする術を獲得する。 スポーツを通して社会生活に必要な態度を身につける。
18GHSS0009	アメリカンコーチングメソッド	全て	この科目では、実践的な米国コーチングメソッドを学ぶ上で欠かせないリーダーシップ力を学び、競技者を育成するだけでなく、高度な知識と効果的なコミュニケーション技術を学習する。 また、モチベーションの向上により、パフォーマンス効果とメンタル面で向上のバランスから自らが目指すことを伝えることができる技量を習得する。海外事例を参考に、国際化が進むなかで必要不可欠であるコミュニケーション力を高め、国際理解を深めると共に、健康・スポーツ指導者、起業家育成、またそれらを支えるスタッフとしての国際的なリーダーの育成を目的とする。	ロールモデル（模範となる人物）となるための優れた知性、感情豊かな心、人に対する思いやりを学ぶ。コミュニケーション能力の向上により、言葉の発信力と国際力を身につけることを目標とする
18GHSS0010	老年期リハビリテーション学	全て	高齢者に多い病気や、高齢者の特徴、加齢に伴う体の変化を家族の方や周りの方が理解することはとても大切なことです。 老年期リハビリテーション学は高齢者の病気、転倒予防や骨折、高齢者の病気を予防できる生活習慣について学ぶ。また、体が不自由になった方の生活環境整備や介護する方法、家の中でできる運動について理解する。	高齢者に多い病気（脳血管障害・パーキンソン病・骨折）について理解する。 高齢者の特徴、加齢に伴う体の変化、転倒予防、認知症について理解する。
18GHSS0011	生活リハビリテーション学	全て	病気や事故で体が不自由になった方には、日常生活で困っていることを理解することはとても大切なことです。 生活リハビリテーション学ではリハビリテーションの意義、生活環境（車いす、手すり、自助具）を理解し、体が不自由になった方を介護する方法、家の中でできる運動（関節を動かす、バランス、筋力）について理解を深める。家庭でできる運動により体の不自由な方の現状を維持し生活の質の向上を目指す。	体が不自由な方のリハビリテーションの意義、生活環境（車いす、手すり、自助具）、介護方法、腰痛予防について理解する。 家庭でできる運動（関節を動かす、バランス、筋力）について理解する。

#### 健康・スポーツ科目群（スポーツ実技科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GHSE0001	スポーツ実技（テニス）	全て	テニスは生涯スポーツであり何歳になっても楽しめるスポーツである。 授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームができるように学習する。 できる喜びを感じる。	テニスの基本技術と応用技術とルールを学び試合ができることを目標とする。 テニスの楽しさを学ぶ。
18GHSE0002	スポーツ実技（ゴルフ）	全て	生涯スポーツであると共に、今や社会人の社交の場となっているゴルフ。 紳士淑女のスポーツとも言われるゴルフを正しく理解し、肩こりや腰痛予防の運動にもなるゴルフスイングを健康的に楽しめるようになることを目的としている。	ゴルフの競技特性を学び、スイング技術の基本を習得する等、ゴルフコースをラウンドするにあたっての準備や基礎を構築する。 また、実際にボールを打つ練習を自立的に楽しめるように、良いスイングフォームを覚えることを目標とする。
18GHSE0003	スポーツ実技（バレーボール）	全て	バレーボールの楽しさは、一つのボールをつなぎ・ラリーを行うことにある。本授業では、基本技術の習得やルールおよび審判方法など種目の特性を理解する。また、仲間と楽しみながらゲーム体験ができるよう個人技能の向上および集団機能の重要性を知り、生涯において健康的な生活を送るための健康づくりや生涯スポーツへきっかけとなるよう授業を展開することとする。	バレーボールは集団スポーツであることから、集団的機能による共同性を養うだけでなく、本競技の本質的楽しさを知るために、個人到達目標として基本動作となるオーバーハンドパス・アンダーハンドパスおよびサーブ・レセプション（サーブプレッシュ）・ディグ（スパイクレッシュ）・スパイクなどの個人技能の習得に併せ、他者を介してのボールコントロールができることを到達目標とする。
18GHSE0004	スポーツ実技（バドミントン）	全て	生涯スポーツとして、年齢男女問わず、レクリエーションにも、競技的にも楽しむことのできるバドミントン。 そのバドミントンの特性を、するスポーツとして、見るスポーツとして、支えるスポーツとして等、様々な角度から理解し、楽しさを多角的に学ぶことを目的とする。	バドミントンの基本的なストローク技術・シングルスやダブルスのルールの理解、習得し、試合を通して、プレーすること、他者のプレーを見る・応援すること、試合運営を支えあうこと等から、多角的な楽しさ、バドミントンへの携わりを学ぶ。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GHSE0005	スポーツ実技（卓球）	全て	目的：卓球のボールの独特な性質を学び、技術を向上させ、ゲームを主体的に楽しめるようになることを目的とする。	目標：卓球の競技特性を知り基礎練習を繰り返すことにより、生涯にわたってゲームを楽しむ能力と態度を身につけることができる。
18GHSE0006	スポーツ実技（ジャズダンス）	全て	ジャズダンスはポピュラー音楽の変遷と共にそのダンススタイルを変容してきた。本講義では、それらの中から代表的なスタイルおよび音楽の速度による踊り方の違い等を体験することにより、ジャズダンスが単に流行の音楽に合わせた一様式のダンスではないことを学習する。	この科目は、ジャズダンスの概論・実践の双方を学習した上で、セメスター修了時に衣装付でダンサー体験をすることにより、実際の現場（生涯学習・教育現場・舞台等）で生かせる実践力の習得を目標としている。
18GHSE0007	スポーツ実技（エアロビクス）	全て	音楽に合わせて、リズムカルに楽しく身体を動かし、健康・体力づくりができるのがエアロビックダンスである。本授業では、楽しくエアロビックダンスを行い、健康体力づくりに役立つ知識を学ぶ。そして、生涯に渡って楽しくフィットネスライフを継続できるように目指す。	毎回の授業において、授業が終わっても、自宅や学校等で、いつでもどこでもできるトレーニングやストレッチを実践できるようになること。
18GHSE0008	スポーツ実技（水泳）	全て	水泳技術を獲得することは、自身と他人の生命を水の事故から守ることが可能となる。また、長い距離を泳げる技術を修得することは、体力の向上、生涯スポーツとして健康の維持・増進に有用な身体活動である。実践におけるプールでの事故防止と安全管理についても学習する。	4泳法ならびにスタート・ターンにおける基礎技術について目標設定された距離と時間を完泳することを目標とする。水泳の事故防止と安全管理について、実施上の留意事項について学習する
18GHSE0009	スポーツ実技（軽スポーツ）	全て	トランポリン運動は、三次元スポーツ！ 空中で自分の体を動かし新たな身体能力を発見しよう。 個人スポーツなので各自のレベルに合わせて楽しく運動することができる。 また全身運動により美しいプロポーション作りに役立つ。 脳の活性化・持久力・瞬発力・バランス感覚を養うことができる。	1. バランス感覚を身につける。 コア・トレーニングができる（普段運動不足の学生） インナー・マッスルがさらに強化される（運動クラブの学生） 2. 脳の活性化・体力の向上を図る。 学業のプラスに繋がる（トランポリンを使用の動作全て） 3. 生涯スポーツとして役立つ。 一度身につけた感覚は忘れない為。 ※トランポリン運動は不安定な場所で行う為、頭と身体を一度に使う為、認知症の予防や障害者の回復運動にも利用できます。
18GHSE0010	スポーツ実技（遊びと障害）	全て	障がいのある人（以下障がい者）がスポーツや遊びを楽しみ、身体を動かすことの大切さを考えていく。そのためにも誰もが取り組みやすい球技や水泳を取り上げ、その疑似体験を行うことによって、身体を動かすことの楽しさを理解することを目的とする。	障がいとは何か、また障がいのある人がスポーツや遊びを楽しむということはどのようなものなのか、実際に体験することにより「決して特別なことではない」ということを理解する。
18GHSE0011	スポーツ実技（ヨガ）	全て	ストレス社会の出現で医学や心理学方面にヨガの効用を役立てるヨガ療法が世界中に広まり、その効果が多くの学会で報告されています。授業では実技を中心にいろいろな気付きを得ることで五感が高まり学生生活また卒業後も自己の心身バランスを保つ上で役立てられるよう学びます。	自然に柔軟性、筋持久力、心肺機能など基礎体力が向上し、元気に綺麗になり気持ち前向きになれることが期待できますが、実技での体と呼吸の変化を通じ、自分の意識とコントロール力、感じるという力を高めていきます。
18GHSE0012	マッサージ実習	全て	自分自身の体にある関節や筋肉について理解し、マッサージによる健康維持、血行の改善の方法を理解する。たくさんの方が経験する肩こり、腰痛に対するマッサージの方法を理解する。 疲労回復、リラクゼーションを目的としたマッサージの技術を習得する。	体の部位や関節、筋肉について理解し、上肢・下肢・体幹に対するマッサージの方法を習得する。 肩こり、腰痛の原因を理解し対処方法、改善策、マッサージ方法について理解する。
18GHSE0013	スポーツ実技（サッカー）	全て	サッカーのルールや特性を学び、個人技術を向上させチームスポーツとしてゲームを楽しめるようにする。	サッカーの競技特性を理解し、身体を動かす楽しみや充実感を味わいながらチームワークを養い、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。
18GHSE0014	スポーツ実技（ビーチバレー）	全て	ビーチコートにおいて「はだし」で球技スポーツを楽しむ。 バレーボールとビーチバレーの違いを知り、ビーチバレーを楽しむ。 またビーチバレーを通して自然環境と向き合う。	自然環境下でバレーボールを行ない、砂、風に慣れること。ビーチバレーのルールで競技ができるようになること。
18GHSE0015	からだ気づきと姿勢法	全て	ネヘミア・コーヘン氏によってカナダで開発された姿勢調整法であるミツヴァ・テクニクを中心に、その基本的概念と実践の方法を学ぶ。授業では基本エクササイズを体得すること、またその過程において自己のからだの在り方に目を向け、耳を傾けることで、からだへの気づきを促すことを目的とする。	学生が自分の習慣やからだの使い方の癖を見つめ直すことを通じて、からだへの気づきと姿勢調整の意味を理解する。各自ミツヴァ・エクササイズとその補助エクササイズを継続的にできるようにする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GHSE0016	巧みな動きづくり	全て	スポーツの動きにおいてはいろいろなことが要求される。多くの行為プログラムを持つこと、状況に適した行為を行うこと、環境を認知しそれを利用すること、すばやく精度を高めること等々。これらはどのようにして身につければいいのか。この科目では、教職に就いた際の指導法も身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーディネーション能力を構成する7つの能力それぞれを理解する。</li> <li>・それらを高めるトレーニング法を身につける。</li> <li>・指導法の重要ポイントを身につける。</li> </ul>
18GHSE0017	スポーツ実技（スリムエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、体力向上、シェイプアップを中心に楽しくエアロビックダンスを行い、学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの基本実技から様々なステップバリエーションを学習することで、音楽と一体感のある振付を楽しむことができ、エアロビックの技術向上を目標とする。
18GHSE0018	スポーツ実技（ダンスエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、様々なリズムの音楽を使ったダンス要素の動きを取り入れたエアロビックダンスを中心に学び、ダンス初心者でも取り組むことができる内容とする。学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの動きに、ジャズダンスやヒップホップ、ラテン系を中心とした動きを取り入れた実技を行い、音楽と動きを楽しむことができ、技術向上を目標とする。

#### 大学・初年次ゼミ 学び発見ゼミ

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GUSM0001	情報社会と「私」の未来	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。このゼミでは、情報社会に特有の事象（出来事）を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り上げる話題について広く深く調べる方法を学び、実践できる。</li> <li>・話題について他者の考えを理解し、自らの視点から明確に考えを主張できる。</li> <li>・様々な話題に関する議論を通じ、情報社会の特徴を自分の言葉で述べることができる。</li> <li>・情報社会特有のリスク（危険性）を理解し、リスクの軽減や回避の方法を提案できる。</li> </ul>
18GUSM0002	変化の時代に学ぶ	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。このゼミでは、様々な事象の中から時代と社会の変化に焦点を当て、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。併せて「社会に貢献できる女性の育成」（武庫川学院教育目標）に資するために、社会人として仕事をする際に必要となる「知性・情操・徳性」（武庫川学院立学の精神）を涵養を意識し、加えて「主体性・論理性・実行力」（武庫川女子大学教育推進宣言）を具えた「自立した学生」に成長することを目指す。	<p>この授業で受講生は次のようなスキルとマインドを習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自分で考える力、とくに正解のない問題を考え、そのことに楽しんで取り組む姿勢。</li> <li>②質問力の獲得。</li> <li>③視野の拡大と成長意欲。</li> <li>④何事にも失敗を恐れず挑戦する精神。</li> <li>⑤思考と経験の言語化。</li> <li>⑥主体性と行動力（脱・指示待ち人間）。</li> <li>⑦コミュニケーション力およびリーダーシップ必要性の理解。</li> <li>⑧グループワークとスピーチへの積極的姿勢。</li> <li>⑨授業モットー「挑戦・失敗・成長」の実践。</li> <li>⑩時代と社会の変化への感度を磨く。</li> </ol>
18GUSM0003	新聞コラムで世界を知る	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。このゼミでは、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混迷の時代を生き抜くために必要な「学び」はどうあるべきか。受け身ではなく、積極、果敢な学習意欲によって考察、行動に転じる契機にしてほしい。</li> <li>・「読む力」「書く力」「伝える力」は基礎体力ともいえる。すべての「学び」の根底でもある、三つの力を培おう。</li> <li>・社会の動向の動きに素早く反応し、その事象がわれわれとどう関係しているのか。常にグローバルな視野と意識を持とう。</li> <li>・文字・活字が持つ「力」を具体的に把握し、「言葉」が主体的な生き方の支えになることを認識しよう。</li> <li>・柔軟な発想、自由な思考を構築するための胎動期として位置づけ、「議論の楽しさ」を体感してみよう。</li> </ul>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GUSM0004	脱受け売りのための考える力	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。 このゼミでは、一つの軸となるテーマから周辺の関連事項に自ら関心を抱き、自身の意識の中に「知的好奇心の芽」を育てることを目指す。身近な話題から社会問題に至るまで様々な事柄について考え、独自の見方を確立する一方で他者の意見を尊重し、お互いに適切に批判しあうことができる「クリティカル・シンカー」となることを目的とする。	自身の考えを他に的確に伝えることができる 自身の考えに対する他からの批判を適切に受け止め討論できる 他の意見に対し、適切に批評することができる
18GUSM0005	はじめて学ぶジェンダー問題	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。 このゼミでは、国内外のジェンダーに関わる慣習や「常識」を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の慣習や「常識」をジェンダーの視点から捉え、その背景を理解できる。</li> <li>・さまざまな事例について調べ、共通点や相違点を示すことができる。</li> <li>・慣習や「常識」を批判的に捉え、改善の余地を探ることができる。すでに対策がとられている場合には、その賛否について調べ、自らの見解を明示できる。</li> <li>・他者の立場や意見を尊重しつつ、自らの考えを述べることができる。</li> </ul>
18GUSM0006	歴史から見通す現在・未来と私	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。 このゼミでは、歴史的事象（出来事）を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来を見通す力を養うために、過去から現在に続く歴史的事象を事例として、自らの立場、考え方を歴史的な文脈（時間の流れ）に位置づけながら説明することができる。</li> <li>・自身の立場・考え方、あるいは評価内容を、客観的、論理的、かつ冷静に議論できることができる。</li> <li>・議論した内容・結果を、オーラル・文章の両面から他者へ伝えることができる。</li> <li>・価値観・評価・アプローチには多様な方法があることを理解し、自身とは異なる立場・考え方を尊重することができる。</li> <li>・過去から連続する現代社会や未来に対する視野を拡大し、多様なものの見方ができる。</li> <li>・客観的に根拠ある証拠を示さなければ、歴史的事象を含む社会のさまざまな事柄が評価されないことを理解し、自ら実践できる。</li> </ul>
18GUSM0007	人間の心理と行動を探る	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。 このゼミでは、「人はなぜこうするのだろうか」という身近な疑問を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での学びに対して興味・関心を持つ</li> <li>・他者と協同して学ぶために必要な力（コミュニケーション力、実行力、積極性、思いやり）を身につける</li> <li>・グループで役割分担して、班の研究発表を公表できる</li> <li>・結果を用いて自ら考え、引用文献を用いたレポートとしてまとめることができる</li> </ul>
18GUSM0008	学校を巡る問題と親や子の立場	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。このゼミでは、様々な事象の中から時代の変化に焦点を当て、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。 併せて、新しい時代の教育や学校・家庭・地域との連携・協働のあり方について理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 広く深く調べる方法を学ぶとともに、批判的思考力を身につける。</li> <li>(2) 多様な考え方を尊重しつつ、自らの考えを論理的に述べることができる。</li> <li>(3) コミュニケーション力やプレゼンテーション力を身につける。</li> </ol>
18GUSM0009	心の謎にせまる	1年 のみ	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするためには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方を持ち、それを表現するといったことが大切になる。 このゼミでは、「私たちの普段の生活とその背景にある心理学的なしくみ」、についての話題をとりあげ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動の背景にある心理的な側面に気付くことができる。</li> <li>・そのための知識を系統的に調べることができる。</li> <li>・それらを整理し、他者に伝えることができる。</li> <li>・それに対する他者の考えを加えて、自分の考えを適切に修正できる。</li> <li>・人間が持つ内的な働きについて理解し、自分のことばで表現できる。</li> </ul>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18GUSM0010	こころの始まりとしての赤ちゃん	1年 のみ	<p>学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするためには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方を持ち、それを表現するといったことが大切になる。</p> <p>このゼミでは、「赤ちゃんからのこころの発達」についてという話題をとりあげ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころ」の発達 は胎児期からすでに始まっているという視点やその重要性に気が付くことができる。</li> <li>・そのため知識を系統的に調べることができる。</li> <li>・それらを整理し、他者に伝えることができる。</li> <li>・それに対する他者の考えを加えて、自分の考えを適切に修正できる。</li> <li>・ひとのこころの発達を知る上での、自分のことばで表現できる。</li> </ul>